

平成 2 8 年度

教育に関する事務の管理及び執行状況の

点検・評価報告書

笠岡市教育委員会

## I 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価について

### 1 目的

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」(以下「地教行法」という。)第26条の規定に基づき、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、教育委員会が点検・評価し、その結果を議会に報告するとともに市民に公表することが義務づけられています。

この点検・評価は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民に対する説明責任を果たしていくことを目的としています。

### 2 点検・評価の対象及び方法等

#### (1) 対象

- ① 教育委員会が管理・執行する事務
- ② 第6次笠岡市総合計画実施計画(平成27～29年度)に掲げた「安全で快適なまちづくり」及び「心豊かな人づくり」の取組のうち主なもの
- ③ 「笠岡市教育振興基本計画」に掲げた主要施策の事務・事業のうち主なもの

#### (2) 方法

平成28年度における達成状況の把握を参考としながら、その取組状況について点検・評価を実施します。

##### ① 点検・評価項目

教育行政における教育委員会の活動状況、管理執行する事務及び教育振興基本計画に掲げた主要施策を記載

##### ② 目標

点検・評価項目が目指す目標、その必要性や意図・ねらいなどを記載

##### ③ 事業概要

点検・評価項目の事務事業及び施策について、その概要を記載

##### ④ 取組状況

点検・評価項目の事務事業及び施策について、目標を達成するための具体的な取組状況を記載

##### ⑤ 成果

実施した事務事業及び施策の成果について、具体的に記載

##### ⑥ 課題・方向性

今後の課題・改善点及び方向性等について記載

##### ⑦ 自己評価

目標に対する達成度や効果等について、評価を記載

<評価指標>

- A：予定どおり目標が達成された。
- B：概ね達成された。
- C：やや目標に達成できなかった。
- D：達成できなかった。努力を要する。

(3) 学識経験者による知見の活用

点検・評価に当たっては、地教行法第26条第2項の規定により教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされたため、笠岡市教育委員会評価委員から意見を聴取しました。

< 笠岡市教育委員会評価委員 >

松 畑 熙 一	中国学園大学学長
竹之内 金 太	元岡山県立笠岡高等学校長
大 山 美智子	井原市立大江幼稚園長

(4) 報 告

当年度分の報告を議会（総務文教委員会協議会）で行います。

(5) 公 表

ホームページ及び教育委員会事務局等での閲覧ができます。

<参考>

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## Ⅱ 笠岡市教育行政における事務の管理及び執行状況の点検・評価項目

### 1 教育委員会の運営状況

#### (1) 教育委員会の会議の運営

教育委員会定例会及び臨時会の開催

#### (2) 教育委員会の活動

予算について市長意見聴取

市議会への出席

#### (3) 教育委員の研修等

研修会，その他各種行事・会議への出席

#### (4) 学校及び教育施設への支援

教育委員による学校・教育施設訪問

教育委員と教職員の懇談会

教育委員による学校給食訪問

### 2 教育委員会が管理・執行する事務

#### (1) 教育行政の運営に関する基本方針

「笠岡市教育振興基本計画」を策定

#### (2) 規則等の改廃

規則，要綱，規程等の制定・改正等

#### (3) 議会の議決を経るべき議案

条例等の議案を審議

#### (4) 教育関係予算

教育行政に関する予算を審議

#### (5) 教育委員会の所管に属する学校，その他の教育機関の設置又は廃止

設置又は廃止を審議

#### (6) 職員の任免に関すること

教育委員会事務局職員の人事異動，小・中学校長等の人事異動の内申について審議

#### (7) 教科用図書の採択の決定に関すること

教科用図書の採択

#### (8) 法令等で定められた諮問機関の委員の委嘱

諮問機関の委員の委嘱

#### (9) 市重要文化財の指定及び解除

市重要文化財の指定及び解除を審議

#### (10) 教育委員会の点検評価報告書の作成

教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価を実施し，報告書の作成，議会へ報告，公表

### 3 教育行政施策体系

基本理念	施策項目 (総合計画)	基本方針	基本施策	個別施策
人間尊重を基調に、生きる力を身につけた心豊かな人づくり	充実した学校教育が受けられるまち	自立して共に生きる子どもを育てる学校教育の推進	1 自立した子どもの育成	(1) 確かな学力を身に付けるための教育内容・方法の充実 (2) 幼児教育の充実 (3) 特別支援教育の充実 (4) 時代に即した学校教育の推進
			2 豊かな心と健やかな体をもつ子どもの育成	(1) 豊かな人間性を育む教育の充実 (2) 健康教育の充実と食育の推進 (3) 学校体育・スポーツ活動の充実
			3 安心して学習できる教育環境づくり	(1) 開かれた学校づくりの推進と学校教育体制の整備 (2) 教職員の資質・能力の向上と研修体制の確立 (3) 安全教育・防災教育の推進 (4) 教育相談・支援体制の充実
			4 人権教育の推進	(1) 教育・啓発活動の推進 (2) 教職員の研修の充実
			5 学校施設等の整備	(1) 学校施設の耐震化事業の推進 (2) 学校施設の空調設備設置の推進 (3) 校舎等施設の整備と安全確保の推進
	学びが人を育てるまち	心豊かな生きがいを育む生涯学習の推進	6 生涯学習による人づくりまちづくり	(1) 生涯学習の推進 (2) 社会教育関係団体の育成 (3) 公民館活動の推進
			7 青少年の健全育成	(1) 家庭教育の充実 (2) 家庭・学校・地域社会の連携強化 (3) 青少年団体の育成 (4) 非行防止活動
			8 人権教育・啓発の推進	(1) 教育・啓発活動の推進 (2) 人権教育推進組織の活性化 (3) 指導者の養成
	歴史を守り文化・芸術を育てるまち	創造性を育む文化の振興と文化財の保護・活用	9 芸術文化活動の普及・振興	(1) 芸術文化活動の振興及び交流 (2) 文化施設及び文化環境の整備 (3) 笠岡市文化・スポーツ振興財団との連携
			10 文化財の保護・保存と継承	(1) 文化財の調査研究と啓発・活用 (2) 文化財資料の収集・整理
	いつでもどこでもだれでもスポーツが楽しめるまち	豊かな生涯スポーツの推進と競技レベルの向上	11 生涯スポーツの推進	(1) 各種スポーツ教室・大会の開催, 地域スポーツ団体の支援・育成 (2) スポーツ推進委員活動の充実 (3) スポーツ情報の提供
			12 スポーツ・レクリエーション施設の整備・充実と活用	(1) 施設整備及び充実 (2) 利用しやすい環境の整備
			13 競技スポーツの推進	(1) 各種スポーツ大会の開催(主催) (2) 競技会等の支援 (3) スポーツ指導者の養成, トレーナースタッフの確保 (4) 優秀選手の表彰 (5) 笠岡市文化・スポーツ振興財団, 笠岡市体育協会等との連携

## 1 教育委員会の運営状況

教育長

(H29. 3. 31 現在)

職 名	氏 名	就任年月日	任 期
教 育 長	淺 野 文 生	H21. 10. 1	H27. 4. 1~H30. 3. 31

教育委員

(H29. 3. 31 現在)

職 名	氏 名	就任年月日	任 期
教育長職務代理者	谷 喜一朗	H13. 10. 4	H25. 10. 4~H29. 10. 3
委 員	三 谷 信 恵	H20. 10. 1	H28. 10. 1~H32. 9. 30
委 員	石 井 啓 弐	H27. 12. 11	H27. 12. 11~H31. 12. 10
委 員	藤 谷 幸 弘	H28. 12. 17	H28. 12. 17~H32. 12. 16

### (1) 教育委員会の会議の運営

教育委員会定例会 12回 (前年12回)

教育委員会臨時会 3回 (前年 3回)

月 日	定例会又は臨時会	議 案	報 告	協議報告・その他
4月21日	定 例 会	1	2	6
5月20日	臨 時 会	1		
5月26日	定 例 会	3	1	1
6月23日	定 例 会	2	1	7
7月21日	定 例 会	2		4
8月18日	定 例 会	2	4	1
9月14日	臨 時 会			1
9月21日	定 例 会			8
10月20日	定 例 会	1	1	11
11月17日	定 例 会	3	1	5
12月20日	定 例 会	1		5
1月19日	定 例 会		2	7
2月16日	定 例 会	2		3
3月16日	定 例 会	13	1	3
3月29日	臨 時 会			1
計	15回	31	13	63

会議については、定例会を毎月1回、年12回開催、臨時会は、必要に応じて3回開催し、計15回開催した。

会議の開催に際しては、議案資料の内容を事前に確認し、会の円滑な進行に努めた。

会議の公開等，開かれた委員会として保護者や地域住民に情報発信し，地域に求められる活動を進めている。なお，定例会での協議のほかに教育長を含む教育委員全員で，今日的・緊急的課題について，非公式協議や意見交換を随時行っている。

① 教育委員会議案・報告案件

月 日	議 案 ・ 報 告 案 件
4月21日	① 笠岡市教育集会所運営委員の委嘱について ② 教育長の専決処分した公民館運営審議会委員の委嘱について ③ 教育長の専決処分したスポーツ推進委員の委嘱について
5月20日	① 教育委員会事務局職員の人事異動について
5月26日	① 笠岡市文化財保護委員の委嘱について ② 笠岡市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について ③ 平成28年度教育行政実施計画について ④ 教育長の専決処分した公民館運営審議会委員の委嘱について
6月23日	① 笠岡市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部を改正する要綱について ② 笠岡市立竹喬美術館協議会委員の委嘱について ③ 教育長の専決処分した北川公民館運営審議会委員の委嘱について
7月21日	① 笠岡市人権教育推進委員会委員の委嘱について ② 感謝状の贈呈について
8月18日	① 笠岡市立幼稚園一時預かり保育事業実施要綱の制定について ② 平成27年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価報告書について ③ 教育長の専決処分した笠岡市社会教育委員の委嘱について ④ 教育長の専決処分した笠岡市図書館協議会委員の委嘱について ⑤ 教育長の専決処分した笠岡市立カブトガニ博物館運営委員の委嘱について ⑥ 教育長の専決処分した北木西公民館館長の任命について
10月20日	① 感謝状の贈呈について ② 公民館運営審議会委員の委嘱について
11月17日	① 平成28年度末校長・教員等人事異動内申方針について ② 笠岡市（組合）立小・中学校教職員の人事評価制度に係る評価者会議設置要領の制定について ③ 笠岡市（組合）立小・中学校教職員の人事評価制度に係る苦情相談及び苦情処理に関する要領の制定について ④ 教育長の専決処分した行政財産の使用許可について
12月20日	① 教育長の職務代理者の指名について

1月19日	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 教育長の専決処分した中央公民館運営審議会委員の委嘱について（その1）</li> <li>② 教育長の専決処分した中央公民館運営審議会委員の委嘱について（その2）</li> </ul>
2月16日	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 笠岡市幼稚園型一時預かり保育事業補助金交付要綱の制定について</li> <li>② 笠岡市歴史文化基本構想策定委員会設置要綱の制定について</li> </ul>
3月16日	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 笠岡市教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規則の制定について</li> <li>② 笠岡市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について</li> <li>③ 笠岡市教育委員会事務局事務決裁規則の一部を改正する規則について</li> <li>④ 笠岡市教育委員会事務局処務規程の一部を改正する規程について</li> <li>⑤ 笠岡市幼稚園保育料の減免取扱規則の一部を改正する規則について</li> <li>⑥ 笠岡市図書館規則の一部を改正する規則について</li> <li>⑦ 笠岡市学校給食センター建設検討委員会設置要綱の一部を改正する要綱について</li> <li>⑧ 地区公民館長・主事の任命及び運営審議会委員の委嘱について</li> <li>⑨ 感謝状の贈呈について（その1）</li> <li>⑩ 小・中学校長等の人事異動の内申について</li> <li>⑪ 幼稚園長等の人事異動について</li> <li>⑫ 教育委員会事務局職員の人事異動について</li> <li>⑬ 感謝状の贈呈について（その2）</li> <li>⑭ 教育長の専決処分した笠岡市社会教育委員の委嘱について</li> </ul>

② 教育委員会協議報告・その他事項

月 日	協議報告事項
4月21日	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 平成28年度校長・教頭・養護・事務一覧について</li> <li>② 平成28年度幼小中在籍数について</li> <li>③ 平成28年度笠岡市教育委員会・笠岡市教育研修所等研究指定校園について</li> <li>④ 幼保一体化の方向性について</li> <li>⑤ 幼稚園一時預かりについて</li> <li>⑥ 笠岡市中中学生海外派遣事業の実施について</li> </ul>
5月26日	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 笠岡市木山捷平文学選奨の作品募集について</li> </ul>
6月23日	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 平成28年6月笠岡市議会定例会質問・回答について</li> <li>② 平成28年度笠岡市一般会計6月補正予算（教育関係）の内示につ</li> </ul>



	<p>いて</p> <p>③ 笠岡市人権教育後援会について</p> <p>④ 学習支援事業かさおかサマーチャレンジについて</p> <p>⑤ 学習支援事業かさおかホリデーチャレンジについて</p> <p>⑥ 学校等教育施設訪問について</p> <p>⑦ かさおかイングリッシュ・キャンプについて</p>
7月21日	<p>① 平成27年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価報告書について</p> <p>② 平成28年度岡山県学力学習状況調査について</p> <p>③ カブニとカブ海の結婚式について</p> <p>④ 学校等教育施設訪問について</p>
8月18日	① 平成28年度教育便覧について
9月14日	① 小中一貫教育について
9月21日	<p>① 9月定例市議会（代表・個人）質問について</p> <p>② 9月補正予算について</p> <p>③ 平成28年度「いきいきオープンスクール」について</p> <p>④ 平成28年度中学生の職場体験「いきいきチャレンジたいけん」について</p> <p>⑤ 平成27・28年度笠岡市教育研修所研究指定校発表会について</p> <p>⑥ 平成27年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価報告書について</p> <p>⑦ 教育委員の視察先について</p> <p>⑧ 学校等教育施設訪問について</p>
10月20日	<p>① 平成28年度「全国学力・学習状況調査結果」笠岡市の概要と今後の取組について</p> <p>② 平成28年度笠岡市内小・中学校「いきいきオープンスクール」の開催日時について</p> <p>③ 学校等教育施設訪問（中期）結果について</p> <p>④ 第12回笠岡市青少年スピーチコンテストについて</p> <p>⑤ 第64回笠岡市文化祭，第39回笠岡市芸能祭，第41回笠岡市菊花展について</p> <p>⑥ 第39回笠岡市青少年健全育成推進大会について</p> <p>⑦ 森田思軒顕彰講演会について</p> <p>⑧ 「近代花鳥画の巨匠 榊原紫峰展」展覧会及び開会式について</p> <p>⑨ 図書館の休館日と開館時間の見直し及びオープンテラスの設置について</p> <p>⑩ 教育委員の視察先について</p>

	⑩ 金浦中学校研究発表会について
11月19日	① 平成28年度笠岡市一般会計12月補正予算（教育関係）について ② 平成27年度「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」について ③ 平成28年度頑張る学校応援事業優良実践校について ④ 平成28年度いきいきオープンスクール参加者数等結果概要について ⑤ 第12回笠岡市木山捷平文学選奨作品募集結果について
12月18日	① 12月定例市議会（個人）質問について ② 平成29年度笠岡市一般会計予算要求（教育関係）について ③ 平成28年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について ④ 平成28年度笠岡市成人式の開催について ⑤ 新笠岡市学校給食センター整備に係る地元説明会について
1月28日	① 平成28年度卒業式及び平成29年度始業式等の日程について ② 平成29年度幼稚園・小学校・中学校の園児・児童・生徒数の見込みについて ③ 平成28年度笠岡市学校給食展について ④ 第30回笠岡市人権・部落解放文化祭について ⑤ 平成28年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について ⑥ 平成28年度笠岡市成人式の開催結果について ⑦ 笠岡市歴史文化基本構想策定事業について
2月16日	① 笠岡市立小・中学校卒業式の祝辞について ② 岡山県学力・学習状況調査について ③ 学校等教育施設訪問（後期）の結果について
3月16日	① 平成29年3月笠岡市議会定例会質問・回答について ② 平成29年度笠岡市一般会計当初予算（教育関係）の内示について ③ 平成28年度笠岡市一般会計3月補正予算（教育関係）の内示について
3月29日	① 小学校の統廃合について

## （2）教育委員会の活動

### <市長との意見交換>

総合教育会議において、小中一貫教育及び教育関係予算について市長と教育委員との意見交換を行った。

月 日	場 所	内 容
7月13日	市 長 室	小中一貫教育について
8月22日	市 長 室	小中一貫教育について
12月15日	市 長 室	平成29年度笠岡市一般会計教育予算について 小中一貫教育について

<市議会への出席>

5月臨時会	3日間
6月定例会	7日間
8月臨時会	1日間
9月定例会	7日間
12月定例会	6日間
3月定例会	7日間
総務文教委員会	毎月1回（4月を除く）

(3) 教育委員の研修等

岡山県市町村教育委員会連絡協議会、岡山県都市教育委員会教育長協議会等の総会、研修会への参加をはじめ、県外への視察等も行い、直面している課題や今後の取組について研修した。

月 日	会議・研修会等	場 所
4月22日	岡山県都市教育委員会教育長協議会第1回定例会	高梁市役所
4月25日	平成28年度教育問題懇談会	岡山県総合教育センター
5月 9日	平成28年度市町村教育委員会教育長等人権教育連絡会	岡山県総合教育センター
7月12日	平成28年度岡山県市町村教育委員会連絡協議会総会	くらしき健康福祉プラザ
7月22日	岡山県都市教育委員会教育長協議会（臨時会）	メルパルク岡山
7月27日	第1回岡山教育事務所管内市町村教育委員会教育長連絡会議	ピュアリティまきび
10月12日	県教育長と市町村教育長との意見交換会	ピュアリティまきび
10月13日	岡山県都市教育委員会教育長協議会第2回定例会	新見市文化交流館
10月26日	第2回岡山教育事務所管内市町村教育委員	ピュアリティまきび

	会教育長連絡会議	
11月9日	岡山県市町村教育委員会連絡協議会研修会	ライフパーク倉敷プラザ
11月29日	教育委員会行政視察	鳴門市林崎小学校
1月20日	岡山県都市教育委員会教育長協議会第3回定例会	日生防災センター
1月25日 ～26日	岡山県都市教育委員会教育長協議会 平成28年度行政視察	広島県尾道市

○その他各種行事・会議への出席等

月 日	行 事 等	場 所
4月1日	辞令交付式	笠岡市中央公民館ほか
4月5日	(公財)坂本音一育英会・藤井育英会共励会	笠岡市役所
〃	春の交通安全市民運動推進大会	笠岡市保健センター
4月6日	カブトガニ監視員委嘱式	教育長室
4月9日	グラウンドゴルフ「第7回カブトガニ杯」	笠岡総合スポーツ公園
4月11日	第3回PFI事業者選定委員会	議会第2委員会室
4月12日	笠岡市スポーツ推進委員協議会総会	総合体育館第2会議室
4月20日	校園長会	教育委員会会議室
4月25日	笠岡市公民館協議会総会	笠岡市中央公民館
4月26日	笠岡市木山捷平文学選奨運営委員会・選考委員会	笠岡市中央公民館
4月29日	笠岡市子どもフェスティバル	笠岡総合スポーツ公園
5月3日	第19回少年野球フェスティバル	笠岡総合スポーツ公園
5月8日	第1回カブトガニ保護啓発運動	大殿洲海岸ほか
5月12日	教頭会	教育委員会会議室
5月14日	笠岡市PTA連合会評議員会	笠岡市貫閣講堂
5月16日	笠岡市文化連盟第1回理事会	笠岡市民会館
〃	(公財)坂本音一育英会・藤井育英会第1回理事会	笠岡市役所
5月21日	第2回カブトガニ保護啓発運動	大殿洲海岸ほか
5月23日	笠岡青少年育成センター指導員連絡協議会総会	笠岡市中央公民館
5月24日	租税教育推進協議会総会	笠岡市民会館
5月25日	スポーツ少年団指導者協議会	笠岡総合体育館

5月27日	(公財)笠岡市文化・スポーツ振興財団理事会	教育委員会会議室
5月28日	川柳大会句碑除幕式	古城山笠岡川柳公園
5月29日	笠岡市さつき・新緑展表彰式	笠岡市民会館
6月1日	辞令交付式	笠岡市中央公民館
6月3日	暴力追放推進連合会総会	笠岡警察署
6月4日	笠岡市手をつなぐ親の会総会	笠岡市民会館
6月11日	戦没者追悼式	笠岡市民会館
〃	第4回PFI業者選定委員会	笠岡市役所
6月14日	(公財)笠岡市文化・スポーツ振興財団評議員会	笠岡市役所
6月23日	(公財)坂本音一育英会第1回評議員会	笠岡市役所
6月24日	カプトガニ博物館運営委員会	カプトガニ博物館
6月26日	第5回PFI業者選定委員会	笠岡市役所
6月27日	学校給食センター運営委員会	笠岡市市民体育センター
6月29日	広域特別補導協議会笠岡支部総会	笠岡市役所
6月30日	文化財保護委員会	笠岡市中央公民館
7月4日	(公財)坂本音一育英会評議員選定委員会	笠岡市中央公民館
7月6日	笠岡市青少年健全育成連絡協議会総会	笠岡市役所
7月11日	笠岡市体育協会常任理事会	笠岡総合体育館
〃	社会を明るくする運動推進大会	笠岡市保健センター
7月13日	学校警察連絡協議会総会	笠岡警察署
〃	教育集会所運営委員会	笠岡市教育集会所
7月20日	笠岡市竹喬美術館協議会第1回委員会	笠岡市竹喬美術館
7月22日	笠岡市社会教育委員会	教育委員会会議室
7月23日	中学生海外派遣事業結団式	教育委員会会議室
〃	笠岡子ども司書養成講座開講式	笠岡市立図書館
7月24日	第48回笠岡市子どもソフトボール大会	笠岡総合スポーツ公園
〃	カプトガニ結婚式	カプトガニ博物館
7月25日	笠岡市図書館協議会	笠岡市立図書館
〃	笠岡市青少年問題協議会	笠岡市役所
7月28日	固城郡中学生歓迎式	笠岡市民会館
7月29日	笠岡市人権教育講演会	笠岡市民会館
8月4日	インターハイウエイトリフティング開会式	笠岡総合体育館
8月10日	第1回笠岡市人権教育推進委員会	笠岡市役所分庁舎第4
8月17日	笠岡市行革推進本部会	笠岡市役所分庁舎第4

8月19日	国体中国ブロック予選バドミントン開会式	笠岡総合体育館
8月20日	青少年柔剣道大会（柔道の部）	笠岡市市民体育センター
8月25日	定住促進本部会	笠岡市役所分庁舎第4
8月26日	第1回英語教育推進委員会	教育委員会会議室
〃	笠岡市学校給食センター整備運営事業仮契約締結式	市長室
8月27日	青少年柔剣道大会（剣道の部）	笠岡総合体育館
〃	中学生海外派遣事業報告会	教育委員会会議室
8月28日	笠岡市PTA連合会研修会	笠岡市保健センター
9月16日	総合計画推進協議会	笠岡市役所分庁舎第4
9月21日	生涯学習推進本部会	教育委員会会議室
9月22日	秋の交通安全市民運動推進大会	笠岡市民会館
10月 5日	笠岡市行革推進委員会	笠岡市役所
10月19日	笠岡市定住促進本部会第2回	笠岡市役所分庁舎第4
10月21日	へき地連合会大島東小学校研究発表会	大島東小学校
10月23日	第11回べいふあーむ駅伝大会	笠岡陸上競技場ほか
10月29日	笠岡市総合スポーツ公園テニスコートオープンイベント	笠岡市総合スポーツ公園
11月 1日	ワコー文化賞表彰式	笠岡グランドホテル
11月 1日 ～7日	笠岡市内小・中学校オープンスクール	笠岡市内小・中学校
11月 3日	笠岡市文化の日記念表彰式	笠岡市保健センター
11月 5日	第12回笠岡市青少年スピーチコンテスト	笠岡市貫閣講堂
11月 8日	善行少年表彰式	笠岡警察署
11月13日	森田思軒顕彰講演会	笠岡市立図書館視聴覚室
11月14日	「日本遺産認定に向けて」シンポジウム	笠岡市保健センター
11月23日	青少年健全育成推進大会	笠岡市民会館
12月18日	第30回カプトガニ駅伝大会	笠岡陸上競技場ほか
1月 8日	成人式	笠岡市民会館
1月24日	歴史文化基本構想プロポーザル運営委員会	笠岡市役所
1月27日	連合岡山笠岡地区協議会との懇談会	笠岡市役所
2月 5日	第20回べいふあーむ笠岡マラソン大会	笠岡陸上競技場ほか
2月12日	第28回笠岡市生涯学習フェスティバル	笠岡市民会館
2月17日 ～19日	第30回笠岡市人権・部落解放文化祭	吉田文化会館・吉田小学校
2月19日	第39回笠岡市美術展	笠岡市民会館

2月22日	(公財)笠岡市文化・スポーツ振興財団第2回理事会	教育委員会会議室
〃	藤井育英会第2回理事会	教育委員会会議室
〃	(公財)坂本音一育英会第3回理事会	教育委員会会議室
2月25日	市長と語る会(笠岡市PTA連合会)	笠岡小学校
2月26日	カプトガニキャラクター命名式	カプトガニ博物館
3月1日	高校卒業式	市内高校
3月14日	中学校卒業式	市内中学校
3月15日	第12回笠岡市木山捷平文学選奨表彰式	笠岡グランドホテル
〃	(公財)笠岡市文化・スポーツ振興財団第2回評議員会	教育委員会会議室
3月17日	小学校卒業式	市内小学校
3月21日	(公財)坂本音一育英会第2回評議員会	教育委員会会議室
3月30日	新学校給食センター地鎮祭	大井南グランド
3月31日	退職辞令交付式	笠岡市中央公民館ほか

#### (4) 学校及び教育施設への支援

##### ○教育委員による学校・教育施設訪問

幼稚園2園，小学校6校，中学校4校，公民館等教育施設6施設を訪問した。

(前年度 幼稚園3園，小学校6校，中学校1校，教育施設7施設)

月 日	学 校 等	教育施設等
7月 8日	白石小学校，白石中学校	高島公民館，北木公民館，教育相談室
9月29日	大島幼稚園，大島中学校，大島東小学校，神島外小学校，城見小学校，金浦中学校	総合体育館
2月 9日	陶山小学校，尾坂幼稚園，新吉中学校，北川小学校	大井公民館，金浦公民館

各学校(園)における教育目標，研究主題，指導の重点を確認し，授業・部活動状況，施設整備状況，地域との連携，幼・小・中学校の連携等の実情を視察，現在抱える課題について意見交換した。教育施設についても，活動状況や運営状況及び施設整備状況を視察し，今後の課題について懇談した。また，学校開放の時期等を活用して随時，授業参観を行ったり，研究指定校の公開授業を参観して課題の把握に努めている。

##### ○教育委員による学校給食訪問

学校訪問に併せ，食育の推進・地産地消の推進を行っている学校給食センター(共同調

理場)及び島しょ部校(単独調理場)の学校給食を試食した。

月 日	学 校 等	調理施設
7月8日	笠岡市立白石小学校	白石小学校
9月29日	笠岡市立神島外小学校	学校給食センター
2月9日	笠岡市立北川小学校	学校給食センター

## 2 教育委員会が管理・執行する事務

### (1) 教育行政の運営に関する基本方針

平成27年度に「笠岡市教育振興基本計画」を策定し、“人間尊重を基調に、生きる力を身につけた心豊かな人づくり”の基本理念の基、「自立して共に生きる子どもを育てる学校教育の推進」5施策、「心豊かな生きがいを育む生涯学習の推進」3施策、「創造性を育む文化の振興と文化財の保護・活用」2施策、「豊かな生涯スポーツの推進と競技レベルの向上」3施策の各教育行政基本施策を定めた。

### (2) 規則等の改廃

規則, 要綱, 規程等の制定・改正等を行った。

- ①笠岡市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部を改正する要綱について
- ②笠岡市幼稚園一時預かり保育事業実施要綱の制定について
- ③笠岡市(組合)立小・中学校教職員の人事評価制度に係る評価者会議設置要領の制定について
- ④笠岡市(組合)立小・中学校教職員の人事評価制度に係る苦情相談及び苦情処理に関する要領の制定について
- ⑤笠岡市幼稚園型一時預かり保育事業補助金交付要綱の制定について
- ⑥笠岡市歴史文化基本構想策定委員会設置要綱の制定について
- ⑦笠岡市教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規則の制定について
- ⑧笠岡市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について
- ⑨笠岡市教育委員会事務局事務決裁規則の一部を改正する規則について
- ⑩笠岡市教育委員会事務局処務規程の一部を改正する規程について
- ⑪笠岡市立幼稚園保育料の減免取扱規則の一部を改正する規則について
- ⑫笠岡市図書館規則の一部を改正する規則について
- ⑬笠岡市学校給食センター建設検討委員会設置要綱の一部を改正する要綱について



(3) 教育関係予算

教育行政に関する平成29年度当初及び平成28年度補正予算を審議した。

(4) 教育委員会の所管に属する学校，その他の教育機関の設置又は廃止

設置又は廃止はなかった。

(5) 職員の任免に関すること

教育委員会事務局職員の人事異動，小・中学校長等の人事異動の内申，幼稚園長の人事異動，地区公民館長の任命について審議した。

(6) 教科用図書採択の決定に関すること

採択の決定はなかった。

(7) 法令等で定められた諮問機関の委員の委嘱

笠岡市教育集会所運営委員，笠岡市文化財保護委員，笠岡市学校給食センター運営委員会委員，笠岡市立竹喬美術館協議会委員，笠岡市人権教育推進委員会委員，公民館運営審議会委員，笠岡市スポーツ推進委員，笠岡市社会教育委員，笠岡市図書館協議会委員，笠岡市立カプトガニ博物館運営委員会委員，中央公民館運営審議会委員を委嘱した。

(8) 市重要文化財の指定及び解除

指定及び解除はなかった。

(9) 教育委員会の点検評価報告書の作成

平成27年度の教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価を実施し，報告書の作成，議会への報告，公表を行った。

**自己評価** B

新市長就任に伴い，3回の総合教育会議を開催し，小中一貫教育の方向性・進め方を中心に協議した。

学校規模適正化については，平成31年度までは柔軟な対応をとることとしておりましたが，3月に大島東小学校において大島小学校への統合の動きが起こったため臨時会を開催して推進の方向で意思決定した。

教育の行政需要については，それぞれの地域や学校の規模に，かなり違いがあるため，それぞれの教育課題を的確に把握し，政策や予算に反映できるよう教育行政の充実に努めた。

### 3 教育行政基本方針・基本施策

#### 《 自立して共に生きる子どもを育てる学校教育の推進 》

点検・評価項目	自立した子どもの育成
担当課	学校教育課

**目 標** 生涯にわたり学習する基盤が培われるよう、基礎的な知識及び技能を習得し、自ら学び、主体的に行動できる資質や能力の育成を図る。

#### 事 務 事 業

##### 1 確かな学力を身に付けるための教育内容・方法の充実

**事業概要** 小・中学校を訪問し、確かな学力の獲得に向けた授業改善等について、授業の研修を通して取組の支援・助言を行う。また、補充学習や家庭学習の取り組みを通して、学習習慣の定着を図る。

**取組状況** (1) 平成 28 年度岡山県学力・学習状況調査結果を踏まえた取組の明確化及び中学校ブロックごとの協議（実施：中学校第 1 学年）

【平成 28 年度岡山県学力状況調査結果（小北中除く）】

（ ）内は 27 年度，下線は正答率が県より上

平均正答率(%)	全体		基礎		活用	
	笠岡	県	笠岡	県	笠岡	県
国語	<u>65.0</u> (61.5)	64.9 (62.7)	68.6 (63.6)	68.6 (65.0)	<u>56.9</u> (55.5)	56.4 (56.5)
社会	<u>58.8</u> (51.7)	57.3 (51.6)	<u>61.1</u> (56.6)	59.5 (56.2)	<u>53.4</u> (33.3)	52.2 (34.1)
数学 (算数)	<u>68.8</u> (63.7)	68.1 (63.4)	<u>77.8</u> (66.7)	76.2 (66.2)	47.0 (55.3)	48.3 (55.6)
理科	<u>63.3</u> (67.1)	60.3 (63.4)	<u>69.5</u> (70.5)	65.0 (69.1)	<u>53.2</u> (60.2)	52.6 (58.7)

【平成 28 年度岡山県学習状況調査結果 「肯定的」回答（小北中除く）】

学習状況に係る質問項目	笠岡	県
放課後等，先生や地域の人と勉強する 「週に数回程度」～「ほぼ毎日」	12.1 (13.1)	15.9 (17.9)
学校の授業時間以外で月～金曜日 1 日どれくらい勉強しているか（1 時間以上 2 時間より少ない）	36.8 (38.0)	40.0 (39.0)
自分で計画を立てて勉強している	67.4 (72.4)	68.6 (66.6)

(2) 課題に応じた学校訪問

各校園の課題を把握し、それに基づき意図的かつ重点的に学校訪問し、課題に対する具体的な指導・助言を行った。

(3) 理科観察実験アシスタント3名配置

・笠岡小, 中央小, 金浦小, 大井小, 神内小, 大島小, 城見小, 吉田小, 北川小

(4) 補充学習の充実

・かさおかホリデーチャレンジ学習支援事業(全小学校:249(H27:236)名参加)

・放課後学習サポート支援事業(全小学校:387(H27:370)名参加, 中学校309(H27:ー)名参加)

・かさおかサマーチャレンジ学習支援事業(5中学校:50(H27:49)名参加)

(5) 授業改善・学力向上のための指導用デジタル教科書等の整備

(6) 落ち着いた学習環境づくりと家庭学習の充実

各中学校ブロックでの学習規律や家庭学習の手引きの協議

成 果 笠岡市「確かな学力」育成プロジェクトを軸に、授業改善や補充学習の充実などの取組を継続した結果、各学校において、学習規律の徹底や授業改善が進んできている。その結果、小・中学校の学力・学習状況調査において、成果が少しずつ現れている。学習習慣の定着について、家庭学習の時間には引き続き課題があるが、各学校・中学校ブロックで「家庭学習の手引」等を作成し、授業との連動や学習習慣の定着を図る取組を充実させている学校が増えている。

## 2 幼児教育の充実

事業概要 生涯にわたる人格形成の基礎を培う幼児教育の充実を図る。また、幼児数の減少に伴う今後の就学前教育について他課と連携して検討を行う。

取組状況 (1) 幼児と児童との交流の機会の設定

・保育所(園), 幼稚園と小学校との連携: 全小学校

・保幼小中連携のための研修会の開催 8月19日

講師 県教育庁義務教育課 就学前教育スーパーバイザー

(2) 笠岡市教育研修所指定 横江幼稚園

「感じて 伝えて 響きあって～運動遊びを通して～」

(3) 家庭や地域との連携

未就園児の園庭解放, 家庭, 地域の方の保育への参画の推進, 幼稚園一時預かり 1園

(4) 子ども子育て会議、幼保一体化チームへの参加及び協議

成 果 就学前教育と小学校の連携について研修会を開催し、保幼小連携の充実や接続カリキュラム作成に向けて研鑽を深めた。また、保幼小一体化については、庁内関係課で引き続き協議し、今後の方向性について見通しを立てた。

### 3 特別支援教育の充実

事業概要 学校・園が関係機関と連携を取りながら、個別支援を必要とする児童生徒の教育の充実を図る。学校・園のニーズに応じて非常勤支援員を配置するとともに、4歳児発達支援事業を実施し、早期からの支援を行う。

取組状況 (1) 幼・小・中学校（園）への非常勤支援員の配置

・幼稚園5園 ・小学校9校 ・中学校5校：計35名配置

・笠岡市教育支援員研修会 6月17日

講師 県特別支援教育課

(2) 特別支援教育担当者研修会の実施

(3) 笠岡市教育研修所指定 金浦中学校

「すべての生徒の『わかる・できる』を目指した授業づくり  
～ユニバーサルデザインの視点を教育に取り入れて～」

(4) 就学指導に関わる保・幼・小連絡会の実施：年1回

(5) 「4歳児発達支援事業」の推進（早期相談・早期支援）

(6) 笠岡市相談支援ファイル「かけはし」の改訂版の周知，配布

成 果 通常学級の授業において特別支援教育の視点を取り入れ、すべての子どもにとって分かりやすい授業づくりを目指して、金浦中学校では研究発表会が開催され、ユニバーサルデザインの考えを取り入れた実践の普及を図った。また、非常勤支援員は昨年と同じ規模で配置することができ、効果的に活用するため、非常勤支援員の研修会を開催した。

### 4 時代に即した学校教育の推進

事業概要 教職員のICT活用指導力の向上を図るとともに、情報教育の一層の推進と充実を図る。また、子どもの発達を軸に、幼児期から中学校まで一貫性のある教育を推進する。

取組状況 【情報教育の推進】

(1) ICT機器の効果的な活用に向けた情報提供及び研修会の開催

・新採用教員や異動教員へのICT活用のための研修会の開催

(2) 学校訪問や校内研修を活用したICT活用に関わる指導・助言

(3) ICT支援員の配置 全小中学校 月1回程度

- (4) すべての中学校に指導用デジタル教科書を整備
  - 国語, 数学, 理科, 地図, 地理, 歴史, 公民, 英語
- (5) 英語教育推進モデル事業 教育課程特例校: 神島外小, 六島小
  - 連携校: 神島外中学校, 島しょ部小中学校
  - ・児童生徒用タブレット, 英語ソフトウェアの活用
  - ・英語科の授業研究, 年間指導計画の作成

【保幼小中連携教育の推進】

- (1) 中学校ブロックごとに, 保幼小中連携会議の開催
  - ・中学校ブロック内のテーマ(目指す子ども像)を明確にした取組の協議
- (2) ブロック内で連携した学力向上, 生徒指導, 生活習慣等の取組
  - ・中学校教諭による小学校での出前授業
  - ・学習の手引きや生活の手引きを連携して作成
  - ・家庭学習や基本的生活習慣, アウトメディアデー等の強化週間の取組
- (3) 就学時や入学後の保幼小連絡会や小中連絡会等の実施
- (4) 笠岡市連携教育推進報告書の作成

成 果 指導用デジタル教科書の整備, 教職員研修の実施, ICT活用支援員の配置等により, 教員のICT機器の活用がいっそう日常的になり, 授業改善が進んでいる。管理職に学校経営にICT機器がどのように活用されるか等, 学校力の向上と教育の情報化について引き続き啓発を図った。各中学校ブロックで保幼小中連携教育の取組の充実を図った結果, 年度末には笠岡市連携教育推進報告書を作成することができた。

**課題・方向性**

学力向上については, 教員の意識改革や授業改善, 放課後や土曜日を活用した補充学習等, 確かな学力を身に付ける取り組みを引き続き充実させる必要がある。補充学習は, 日々の授業や参加者自身が持つ課題と連携させることが重要であるが, 学校の事情を優先させた取り組み方になっているため, 趣旨の周知を今一度図りたい。また, 家庭学習の時間や内容について中学校ブロックで話し合い, 各学校で具現化し取組を行っているが, 学習習慣の定着に向けてさらに充実を図る必要がある。

**自己評価 B**

笠岡市「確かな学力」育成プロジェクトを核として, 教員のICT活用による授業改善や補充学習の充実を図ってきた効果もあり, 学力・学習状況調査結果については, 正答率の改善が見られた。また, デジタル教科書導入, ICT活用支援員配置等により,

I C T活用がさらに日常化し、授業改善を推進することにつながった。放課後、土曜日を活用した補充学習と授業との連動、家庭学習と授業との連動等をさらに充実させることが必要である。

中学校ブロック内の校種が異なる教員同士が話し合う機会をいっそう充実させ、中学校ブロックのテーマ・目指す子ども像を協議し、実践した。また、学習規律の徹底や家庭学習の手引の作成、基本的な生活習慣の定着等、連携して取り組んでいる。中学校ブロック内で互いの授業を参観したり出前授業を実施したりする機会がいっそう増えた。保幼小中連携を学力向上とともに就学前教育や特別支援教育等の視点からも検討し、研修会や情報交換を行っているが、さらに取組内容を充実させたい。年度末に各中学校ブロックで「笠岡市連携教育推進報告書」を取りまとめたが、今後も質的な充実をいっそう図った内容を構築したい。

新学習指導要領の実現をめざして、英語教育、特別な教科道徳、就学前教育等も着実に充実を図り、実践を市全体に広げていきたい。

点検・評価項目

豊かな心と健やかな体をもつ子どもの育成

担 当 課

学校教育課

目 標

子どもたちにとって安全で安心して生活できる教育環境の中で、道徳教育や体験活動を推進し、幼児期からの基本的な生活習慣の確立及び規範意識の高揚など、豊かな人間性や社会性を育み、心身ともに健康な子どもの育成を図る。

事 務 事 業

1 豊かな人間性を育む教育の充実

事業概要 道徳教育の一層の充実を図るとともに、人・社会・自然などの体験活動を通して子どもたちのよりよい人格形成を図る。

取組状況 (1) 道徳教育の充実

・笠岡市教育研修所指定 金浦小学校

「主体的に判断し、よりよい人間関係を築くことができる児童の育成」～自ら考える道徳の授業づくりを中心にして～

(2) 総合的な学習の時間を中心とした体験活動の充実

・「豊かな心を育む総合推進事業」

(3) 中学生の職場体験「いきいきチャレンジたいけん」の実施

・市内全中学2年生対象：4日間 参加生徒数 385名

(4) かさおか青少年宿泊体験事業「かさおか海の学習」

・笠岡小、金浦小、城見小、大井小、吉田小、神内小、大島小、北川小

(5) CMで伝える地域自慢コンテスト

・城見小、大井小、新山小、神内小、笠岡東中、新吉中、白石中  
計 77名の児童生徒が参加

【平成28年度岡山県学習状況調査結果 「肯定的」回答% (小北中除く)】

( )内は27年度、下線は県と比較

内面に係る質問項目	笠岡	県
物事を最後までやりとげて、うれしかったことがある	94.4(95.3)	96.8(96.5)
自分には、よいところがあると思う	76.5(80.7)	82.9(80.7)
将来の夢や目標をもっている	81.4( <u>87.5</u> )	85.1(84.1)
学校のきまりを守っている	95.8(96.1)	97.3(96.2)
人が困っているときは、進んで助けている	85.7(84.9)	87.9(85.7)
人の気持ちがわかる人間になりたいと思う	94.5(95.3)	95.7(94.9)
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う	97.4( <u>98.5</u> )	97.6(97.1)
人の役に立つ人間になりたいと思う	96.1(96.1)	96.0(95.3)

【暴力行為発生状況〈公立：国立：私立計〉（小北中含む）】

※ 1,000人当たりの発生件数（発生件数÷在籍児童生徒数×1000）

年度	小学校			中学校		
	全国	岡山県	笠岡市	全国	岡山県	笠岡市
H25	1.6	2.1	0.0	11.3	18.0	7.25
H26	1.7	2.1	0.0	10.1	12.8	3.04
H27	2.6	2.9	0.0	9.5	11.0	0.79

成 果 岡山県学力・学習状況調査における豊かな人間性の育成に関する項目の肯定的回答は昨年度より低い割合であった。教育活動全体の中で自己肯定感を高める取り組みが継続して必要である。暴力行為は引き続き減少傾向にあり、落ち着いた学校生活になっていると考えられる。新規事業「CMで伝える地域自慢コンテスト」では、7小中学校・77名の児童生徒が参加した。地域自慢の取材を通して郷土を大切にす気持ちを高め、相手にわかりやすく伝える工夫を繰り返すことにより情報活用能力を高めた。

## 2 健康教育の充実と食育の推進

事業概要 子どもの心身の健康を保持・増進していくために、基本的な生活習慣の定着や食育の充実を図り、健康を大切にする意欲や態度を育てる。

取組状況 (1) 年間指導計画に基づく食育の実施

・栄養教諭や栄養士、調理員等による給食時の学校訪問実施

小学校 62回、中学校 20回実施

・栄養教諭による食育の授業・朝食指導の実施

朝食指導 小学校 11校 14回 食の指導 中学校 1校

・残食率の推移

平成28年度 13.0% (H27: 13.6%, H26: 14.8%)

(2) 学校保健委員会・学校園における食に関する講話や試食会の実施

・講話：幼稚園 8園

・試食会：幼8園・小9校・中学校0校 において計29回

(3) 笠岡市学校給食展開催（2月）

(4) 学校給食における地産地消の推進

地産地消の取組では、市内業者とも連携し、献立を工夫した。

【県内産使用割合】

・平成28年度 39.5% (H27: 52.5%, H26: 46.4%)

(5) アレルギーのある児童生徒への対応

・鶏卵除去食：19人 (H27: 19人) ・豆乳希望者：6人 (H27: 1人)

(6) 薬物乱用防止教室の開催 全中学校



成 果 栄養教諭による食育の指導は、早い時期に児童生徒自身が朝食の大切さを理解し、実践しようとする意欲を持たせるために、小学校5年における朝食指導を中心にこれまで同様行った。学校給食における地産地消の使用率は昨年度を下回った。薬物乱用防止については、すべての中学校で実施した。

### 3 学校体育・スポーツ活動の充実

事業概要 学校と家庭・地域が連携して、児童生徒の体力の向上を図る。

取組状況 (1) 校内における体力向上の取組

- ・水泳や陸上の特別練習の実施：小学校 18 校
- ・業間運動の実施：全小学校 ・部活動の充実：全中学校
- ・駅伝大会に向けた特別練習の実施：中学校 6 校（小北中含む）

(2) 新体力テストの実施（全小・中学生対象）

- ・「A」段階（優秀章）人数

	平成 28 年度		平成 27 年度	
	男子	女子	男子	女子
小学校	176(15%)	174(16%)	160(14%)	185(17%)
中学校	62(10%)	209(35%)	67(10%)	195(32%)

(3) 岡山県「子どもの運動の習慣化事業（チャレンジランキング）」への参加

- ・平成 28 年度：小 2 校，中 3 校 平成 27 年度：小 7 校，中 2 校

成 果 新体力テストにおいて「A」段階が、中学校女子で増加した。岡山県が実施しているチャレンジランキングに継続して参加し、体を動かす習慣につながる取組として実践している。

#### 課題・方向性

「自分にはよいところがある」「将来の夢や目標をもっている」の項目等で多くの児童生徒が肯定的な回答になるように、自己肯定感・自己有用感を高める取組やキャリア教育の充実が必要と考える。基本的な生活習慣の確立や規範意識の醸成については、家庭と連携した取組をいっそう充実させることが課題である。

#### 自己評価 B

豊かな心や健やかな体をもつ子どもを育成するためには、各学校園の取組を充実していくとともに、家庭との連携・協力した取組が不可欠である。

体験活動の充実、校種間連携や家庭・地域連携を通して、自己肯定感・自己有用感を高めたり、規範意識を向上させることがさらに必要である。

健康教育，食育の推進については，栄養教諭の指導や学校給食センター職員の学校訪問，学校保健会や給食展開催等，様々な機会をこれまで同様に設けてきた。全市的な取組を通して，子どもだけでなく保護者へも周知を図る手立てをさらに工夫していくことが必要である。

点検・評価項目	安心して学習できる教育環境づくり
担 当 課	学校教育課

**目 標** 地域に開かれた学校づくりを推進し、保護者や地域との信頼関係を構築するとともに、子どもたちが安心して学習できるように教職員の資質・能力の向上や相談体制の充実に努める。

### 事 務 事 業

#### 1 開かれた学校づくりの推進と学校教育体制の整備

**事業概要** 学校評議員会や学校運営協議会等を通して、地域住民や保護者の意見や助言を学校運営や教育課程の編成に生かすとともに、開かれた学校づくりを推進する。また、いきいき交流スクール、わくわくシーサイドスクール、神島外小・中学校転入学特別制度を積極的に推進する。

**取組状況** (1) オープンスクールの実施：全校で4日間

【参加者数（小北中含む）】

	平成 28 年度	平成 27 年度
保護者	2,500 人	2,262 人
保護者以外	1,251 人	1,006 人
計	3,751 人	3,268 人

(2) 学校運営協議会・学校評議員会の活用

- ・学校運営協議会（笠岡東中・笠岡西中・金浦中：年4～5回開催）
- ・学校評議員会（その他全校園：年2～3回開催）

(3) 学校自己評価及び学校関係者評価の実施とその結果を生かした次年度教育課程の編成

(4) CMSによる積極的な情報発信（全小中学校）

(5) 学校支援地域本部事業の活用 4中学校・14小学校

- ・金浦中学校区、大島中学校区、北木中学校区、新吉中学校区
- ・中央小、神内小、神島外小、笠岡小
- ・北川小、六島小（H28年度より）

(6) 転入学特別制度の活用

- ・「わくわくシーサイドスクール」活用児童：0名
- ・「神島外中学校転入学特別制度」活用生徒：6名
- ・「神島外小学校転入学特別制度」活用児童：0名

**成 果** 3校での学校運営協議会も軌道に乗り、地域の方が学校運営に参画する体制ができた。また、学校支援地域本部事業も新たに2校開始した。

## 2 教職員の資質・能力の向上と研修体制の確立

事業概要 市内の幼・小・中全教職員で組織する教育研修所、教科等研究委員会及び各種教職員研修における研究を推進する。

取組状況 (1) 笠岡市教育研修所による研修の充実

### 【研究指定校園発表】

- ・横江幼稚園（健康）
- ・金浦小学校（道徳）
- ・金浦中学校（全教科）

### 【研修部会の参加率・回数等】

( ) 内は 27 年度

定例部会			特別部会		
参加率 79.8% (80.6%)			参加率 75.4% (78.9%)		
校 種	部 会	研修会	校 種	部 会	研修会
幼	2	8 回	幼小	1	2 回
小	10	31 回	小	6	15 回
中	10	31 回	中	7	18 回
小中	3	13 回	幼小中	1	3 回

(2) 若手教員パワーアップ研修会 (35 歳以下教員対象)

・ 8 月 9 日 : 授業づくり

岐阜聖徳学院大学 教授 玉置 崇 先生

放送大学客員教授 関西大学非常勤講師 塩谷 京子 先生

(3) ハイパーQUの研修会 (1 回)

(4) 岡山県教育委員会・岡山県総合教育センターと連携した研修会

(5) 服務規律の徹底

教職員の服務規律の徹底について各校で計画的な研修を実施した。

成 果 若手教員や臨時的任用講師等の割合がいつそう高まる中、著名な講師を招聘して授業力向上に関する実践的な研修を引き続き行うことができた。

## 3 安全教育・防災教育の推進

事業概要 各校園において、安全点検を徹底するとともに、危機管理部と連携を図りながら火災や地震、津波等の緊急事態発生時には、全教職員及びすべての子どもたちが適切に対応できるよう避難訓練を充実させるなど、安全で安心して生活できる実効性のある危機管理体制づくりを推進する。

また、警察と連携し、児童生徒の健全育成と安全確保を図る。

- 取組状況 (1) 教職員及び保護者による通学路の安全点検の実施：全小・中学校  
 (2) 保護者や地域住民との積極的な連携  
 ・地域と連携した避難訓練の実施  
 ・安全パトロール隊，見守り隊，子ども110番 等  
 ・救急救命法講習会の開催  
 (3) 緊急配信メール「すぐメール」の活用  
 (4) 「地震・津波等対応マニュアル」及び防災教育実施計画の見直し  
 (5) 岡山県警察本部と笠岡市教育委員会との相互連携制度に関する協定による警察と連携した安全確保
- 成 果 地震や津波を想定した避難訓練の中で，28年度からは小学校で「引き渡し訓練」を必ず行うこととし，保護者や地域と連携した取り組みをいっそう重視した。

#### 4 教育相談・支援体制の充実

事業概要 不登校やいじめなどの学校不適應の問題，発達障がい等による特別な支援が必要な子どもへの対応，児童虐待などの今日的な課題に対応することができるよう，教育相談室と教育支援センターの相談・支援体制の充実に努めるとともに，関係機関との連携を図る。

- 取組状況 (1) 「笠岡市いじめ・不登校対策総合推進事業」に基づいた取組の推進  
 (2) スクールカウンセラーの配置  
 ・全中学校 ・小学校4校（笠岡小，中央小，大井小，城見小）  
 (3) スクールソーシャルワーカーの活用  
 (4) 不登校対策支援員の配置（4校）  
 ・笠岡東中，笠岡西中，金浦中，神島外中  
 登校支援員（4校）  
 ・笠岡小，中央小，金浦小，大井小  
 (5) ハイパーQUの研修会（6月）

【教育相談室・教育支援センターへの通室数及び相談・支援件数（小北中含む）】

	平成28年度	平成27年度	平成26年度
通室児童生徒数 (含仮通室)	8名 (小3・中5)	5名 (小0・中5)	6名 (小1・中5)
教育相談室	延べ 496件	延べ 454件	延べ 477件
教育支援センター	延べ 456件	延べ 181件	延べ 130件

【不登校発生状況〈公立：国立：私立計〉（小北中含む）】

※ 出現率（不登校児童生徒数÷在籍児童生徒数×100）

年度	小学校			中学校		
	全国	岡山県	笠岡市	全国	岡山県	笠岡市
H25	0.36	0.43	0.43	2.69	2.48	2.68
H26	0.39	0.45	0.21	2.76	2.37	1.90
H27	0.42	0.46	0.27	2.83	2.49	1.10

【いじめ発生状況〈公立：国立：私立計〉（小北中含む）】

※ 1,000人当たりの認知件数（認知件数÷在籍児童生徒数×1000）

年度	小学校			中学校		
	全国	岡山県	笠岡市	全国	岡山県	笠岡市
H25	17.8	3.51	1.72	15.6	8.04	2.17
H26	18.6	3.96	1.75	15.0	7.29	4.56
H27	18.8	5.95	2.71	15.2	8.96	7.08

成 果 学校や教育相談室，関係機関との連携により，不登校児童生徒はすべて相談機関とかかわりながら指導や支援を受けている。また，不登校児童生徒数も減少している。いじめの認知件数が増加していることは，子どもの状況把握がより確実に行われるようになってきた成果と考える。

**課題・方向性**

開かれた学校づくりや教職員の研修など，安心して学習できる教育環境づくりの実現に向けて，引き続き取組を進めることができた。不登校に関して，中学校では出現率が大きく減少しているが，小学校では横ばい傾向にある。特に小学校で「新たな不登校を生まない取組」に力を入れて，不登校児童生徒数のいっそうの減少を図りたい。いじめ認知件数は，全国・岡山県と比べて少ないが，いじめ解消に向けた早期発見・対応は，いっそう充実させなければならない。

**自己評価 B**

不登校については，相談体制の充実や各機関の連携により，取組の成果が引き続き現れている。学校と教育相談室，関係機関と保護者が連携する中でソーシャルワーカーや登校支援員の配置により家庭への支援がさらに充実してきた。登校時の子どもや保護者への支援は，登校できる有効な条件の一つになっている。いじめを発見し対応する割合は高くなっている。引き続き，早期発見・未然防止の取組を充実させたい。

点検・評価項目 人権教育の推進

担 当 課 学校教育課

目 標 「生きる力」を育む中で人権尊重の精神を養うとともに、望ましい人間関係づくりに努める。また、様々な人権課題について、主体的に解決に取り組む実践的態度を養うため、「知的理解の深化と人権感覚の育成」「自立支援」「人権を尊重する環境づくり」の3視点から教育活動全体を通じて、計画的・継続的に人権教育を推進する。

### 事 務 事 業

#### 1 教育・啓発活動の推進

事業概要 人権教育推進体制の確立のための取組を実施する。

取組状況 (1) 各校における人権教育全体計画・年間指導計画の作成及び担当者研修の実施

- ・人権に関する知的理解の深化と人権感覚の育成
- ・人権課題解決のための自立支援
- ・人権を尊重する環境づくり

(自他を尊重する集団形成、人権に配慮した教育指導)

(2) 人権週間(12月)における取組

各校において、各教科・総合的な学習の時間・特別活動等における様々な人権課題を題材とした学習を通して、共生社会の実現に向けた意識の高揚を図った。

(3) 人権啓発ポスターコンクール実施(小北中含む)

	平成28年度	平成27年度
応募作品数	158点	93点
入賞作品数	34点	38点

(4) PTA人権教育研修会

参加率：平成28年度51.6%，平成27年度31.9%

成 果 学校園の実態や教職員のニーズを踏まえて、各研修会のテーマの設定、資料提供や講師の紹介を行い、参加者の割合が増加した。

#### 2 教職員の研修の充実

事業概要 人権教育担当者の研修、指導者養成講座・研修講座等を開催するとともに、人権教育研究協議会育成事業を実施する。

取組状況 各種研修講座の実施

- ・小・中学校人権教育担当者研修会実施：年2回

- ・人権教育指導者講座の実施：年5回（H27 年5回）
- ・人権保育研修講座の実施：年2回
- ・自立促進連絡会の実施：年6回（H27 年7回）
- ・笠岡市人権教育研究協議会事業実施の支援：年4回
- ・各中学校ブロック人権教育研修会等の実施：年8回

成 果 スマートフォンやネットでの人権に関わる課題も計画的に取り上げ、実態を踏まえた具体的な研修を実施し、PTA人権教育研修会では保護者と児童生徒が一緒に参加する研修会の企画がいつそう増えている。

#### 課題・方向性

スマートフォンの普及などにより、ネット社会で大切にしたい人権感覚について研修する機会が増えている。そのため、メディアとのつきあい方を注視する傾向が高まり、表面に表れる学校でのトラブルも減少している。ただし、生徒間のSNS利用などの実態は分かりにくく、意図的・計画的に指導していく姿勢を怠ってはいけないと考える。

#### 自己評価 B

幅広い人権課題に対応した研修・事業を引き続き実施し、成果は上がっている。PTA人権教育研修会の参加率の向上は、各学校における日程や内容の設定を工夫していることが原因と考えられ、引き続き同様に取り組むことを促していきたい。

スマートフォンやネットでの人権に関わる課題については、生徒会などで中学生自らスマートフォンの利用の仕方について考える取組がいつそう拡大してきている。一方で、児童生徒の自主的な取組に任せるだけでなく、教員がものの見方・考え方を指導しながらメディアとのつきあい方や人権問題について考えさせる機会も、充実させる必要がある。そのためにも、増加しつつある若い教員を対象とした研修機会をこれまで同様に充実させ、高い人権感覚を備えた人材の育成を図って行きたい。



点検・評価項目 学校施設等の整備

担 当 課 教育総務課

目 標 耐震診断，耐震化による安全対策の充実と校舎等施設の営繕等を適切に実施し，教育環境の向上に努める。

### 事 務 事 業

#### 1 学校施設の耐震化事業の推進

事業概要 学校施設は，児童・生徒が一日の大半を過ごす学習・生活の場であると同時に，多くの学校が災害時における各地域の避難場所としての役割を担っている。こうしたことから，教育環境の安全確保及び危惧されている東南海・南海地震に対処するための児童・生徒及び地域住民の安全拠点として整備をする。

取組状況 昭和 56 年 5 月以前の旧耐震設計基準で建てられた学校施設について，耐震診断（2 次）の結果をもとに，耐震化が必要な建物について，計画に基づき耐震補強工事を，小学校 1 校 2 棟で実施し，あわせて施工監理を委託した。

また，耐震化が図れない小学校 1 校 1 棟を解体し，機能移転のため校舎棟の増築を実施した。

あわせて，非構造部材の耐震化工事についても，小学校 1 校で実施した。

<平成 28 年度に耐震補強工事を実施した建物>

笠岡小学校教室棟・便所棟，笠岡小学校管理棟解体及び校舎棟の増築  
※笠岡小学校教室棟・便所棟で委託した。

<平成 28 年度に耐震診断を実施した建物>

大島東小学校教室棟，真鍋島小学校管理・教室棟，真鍋中学校管理・特別・教室棟

<小中学校の耐震化率（平成 28 年度末）>

笠岡市 100%（前年比：+3.9%）（非木造）  
96.3%（木造含む）

<平成 28 年度に非構造部材の耐震化工事を実施した建物>

今井小学校教室棟

成 果 耐震化工事については，平成 27 年度から工期延長となっていた工事が完了し，非木造校舎の耐震化工事は完了した。

木造校舎については、今後の対策を図るための耐震診断結果を得ることができた。

## 2 学校施設の空調設備設置の推進

**事業概要** 児童・生徒の授業への集中による学力向上効果や近隣住民への騒音対策及び園児の体調調整を図るため、小・中学校の普通教室、特別教室（音楽室、理科室）及び幼稚園の保育室、遊戯室に空調設備を整備する。

**取組状況** 学校施設空調設備設置事業

快適な教育環境を提供するため、学校施設へ年次的に空調設備を整備する。平成 28 年度は設置工事を中学校 4 校、幼稚園 2 園で実施し、実施設計を小学校 3 校、幼稚園 2 園で実施した。

＜平成 28 年度に空調設備設置工事を実施した学校・園＞

神島外中学校、笠岡西中学校、新吉中学校、大島中学校、大井幼稚園、大島幼稚園

※笠岡小学校、中央小学校、神島外小学校、笠岡幼稚園、金浦幼稚園の空調設置工事は平成 29 年度に繰り越した。

＜平成 28 年度に空調設備設置工事实施設計を実施した学校・園＞

笠岡小学校、中央小学校、神島外小学校、笠岡幼稚園、金浦幼稚園

**成 果** 空調設備の設置事業については、計画的に設置工事及び実施設計を実施し、中学校（島しょ部を除く）については計画どおり設置済みとなった。

## 3 校舎等施設の整備と安全確保の推進

**事業概要** 学校施設の営繕・整備について、適切に実施し、児童・生徒の安全確保を進める。また、子どもたちに安全で安心な給食の提供と食育の推進を基本理念に、新学校給食センターの早期建設に向けて取り組む。

**取組状況** 学校施設の営繕・整備

学校現場からの要望を集約し、危険度・緊急度を精査し、学校施設の営繕・整備を行った。

<主な工事>

学校名	事業名	事業費（千円）
笠岡小学校	支障木処理工事	1,291
中央小学校	防犯カメラ設置工事	594
金浦小学校	防球ネット設置工事	1,264
城見小学校	屋内運動場床塗装修繕工事	929
城見小学校	自動火災報知設備更新工事	698
北木小学校	外壁修繕工事	1,274
大島小学校	トイレ洋式化工事	1,188
陶山小学校	トイレ洋式化工事	961
吉田小学校	トイレ洋式化工事	648
笠岡東中学校	太陽光発電設備設置工事	23,012
笠岡東中学校	デマンド監視装置設備工事	1,296
笠岡西中学校	グラウンド法面補修工事	486
新吉中学校	雨水排水改修工事	864
新吉中学校	教室床修繕工事	950
金浦中学校	トイレ改修等工事	842
金浦中学校	トイレ洋式化工事	1,291
大島中学校	トイレ洋式化工事	918
横江幼稚園	庇屋根修繕工事	1,242
富岡幼稚園	軒天及び鼻隠塗装工事	535

新学校給食センターの建設

笠岡市の財政負担を軽減し、設計、建設、維持管理及び運営管理に民間事業者の能力を最大限活用するため、PFI方式（業務委託）を採用し、PFI実施業者を選定するとともに新学校給食センターの建設を開始した。

六島小学校パソコントラブルを装うサポート詐欺に関する情報漏洩追跡調査

平成29年1月に発生したパソコントラブルを装うサポート詐欺事件について、専門業者に追跡調査を依頼し遠隔操作によるファイル転送および文字列転送によって児童の個人情報等の漏洩の可能性が低いことを確認した。

あわせて各校に注意喚起をお願いした。

成 果 学校施設等については、昨年と同様に優先度等を勘案し、適切な営繕及び整備を進め、より安全で快適な教育環境の向上に努めた。

新学校給食センターについては、PFI実施事業者を選定するにあたり選定委員会を設置し、当該委員会の客観的評価によりPFI実施事業者を選定するとともに同事業の点検及び監視を行うことによりPFI事業推進に努めた。

#### 課題・方向性

学校施設の耐震化は、非木造校舎については、工期延期により予定より1年遅れたが、事業を完了することができた。また、木造校舎については、耐震診断結果を基に方策を検討する。さらに、非構造体の耐震化についても、落下防止等の対策を引き続き実施し、安全な教育環境の提供を図る。

学校施設の営繕・整備についても、危険度・緊急度等を勘案し、児童・生徒が安全で安心した学校（園）生活を送れるよう、教育環境の向上に努める。

学校施設空調設備設置事業については、次年度以降も計画的に事業の進捗を図る。

新学校給食センターの建設については、PFIモニタリング業務を実施し、PFI事業の円滑な推進に努める。

#### 自己評価 A

学校施設の耐震化事業については、非木造校舎については完了となったため、今後は木造校舎の耐震化の早期完了に努める。

空調設備の設置については、設置工事及び実施設計を計画通り実施し、事業の進捗を図った。

また、耐震化事業及び空調設備設置の推進を図るため、国の補助事業、緊急防災対策事業債などを積極的に活用することにより、財源の確保に努めた。

校舎等施設の整備と安全確保の推進については、危険度・緊急度を勘案した整備を実施しており、引き続き、限られた予算の中で、危険度・緊急度を勘案し施設整備を図っていきたい。

新学校給食センターの建設については、客観的評価によりPFI事業者を選定するとともに、計画どおりの事業進捗を図ることができた。

## 《 心豊かな生きがいを育む生涯学習の推進 》

点検・評価項目	生涯学習による人づくりまちづくり
担 当 課	生涯学習課

**目 標** 生涯学習による人づくりまちづくりを目指して、知識・技能・学ぶ意欲を身につけ、自ら学び、主体的に行動できる資質や能力の育成を図る。

### 事 務 事 業

#### 1 生涯学習の推進

**事業概要** 自発的な学習の推進，学習機会の拡充，社会参加活動の促進等，人づくり・まちづくりを推進する。

**取組状況** (1) 生涯学習推進体制の充実

- ・企画委員会（9月5日）学習事業の企画開発，研究及び連絡調整
- ・懇話会（9月15日）関係団体それぞれの立場から，本部会への提言，関係機関及び団体の連絡調整
- ・本部会（9月21日）生涯学習推進のための施策及び方針の決定

(2) 生涯学習まちづくり出前講座（66講座）の開催

受講者数      28年度   16,791人      27年度   13,652人

(3) 市民大学教養講座

受講者数      28年度   開催なし      27年度   139人

(4) 託児ボランティアの支援

託児ボランティア「たんぽぽ」への活動補助を行った。

(5) 生涯学習諸学級（幼児学級，女性学級，高齢者学級，成人学級，チャレンジ学級 21学級）の開催

参加者同士の親睦を深め，それぞれの地域での関わりを深めた。

参加者数      28年度   677人      27年度   696人

(6) 第28回生涯学習フェスティバル開催

「学びが人を育てるまち 笠岡」をテーマに，舞台発表，展示発表，体験・実演・販売を実施した。

また，講師に震災・学校支援チーム（EARTH）地区リーダーの鈴木健祐さんをお招きし，「災害に備えるー阪神・淡路大震災の教訓からー」と題して講演を行った。

参加者数      28年度   3,600人      27年度   3,200人

(7) 県西部の文化（広域連携事業4回8講座）の開催

連携している3市2町の地域文化への高い学習意欲，熱心な取組

が見られるが、参加者の高齢化と移動手段の確保が問題である。

受講者数 28年度 50人 27年度 50人

#### (8) 北木島宿泊研修所の整備・運営

旧北木島小学校を宿泊研修施設として再生利用するために必要な整備を実施した。また、施設の管理運営を指定管理によって運営し、島ならではの宿泊体験学習を提供した。

##### 整備事業

- ・屋外炊事棟新築工事実施設計
- ・空調設備増設工事
- ・網戸、ごみ集積庫設置工事

利用者数 28年度 1,686人 27年度 1,685人

**成 果** 生涯学習フェスティバルは、いつでも、どこでも、学びたいときに学ぶことができ、その成果を活かすことができるように工夫し、学びの楽しさ、大切さを再認識してもらうことができた。28年度は、高校生への参加呼びかけ、防災講演などにより来場者の大幅な増加にもつながった。

県西部の文化事業では、定員40名を超える申込みがあったが、希望者全員を受け入れることができるよう、体制を見直した。

北木島宿泊研修所においては、施設整備を実施し、利用者の利便性を高めた。また、市内・市外を問わず多くの利用者に宿泊体験学習を提供することができた。

## 2 社会教育関係団体の育成

**事業概要** 団体がそれぞれの立場で生涯学習に取り組むことができるよう、助言や支援を行い、社会教育関係団体の育成を図る。

**取組状況** 社会教育関係団体へ年間活動補助金を交付し、組織の円滑運営及び充実に努めた。また、社会教育関係団体が実施する事業について教育委員会が共催・後援することで各種団体の支援育成に努めた。

- (1) 女性団体育成事業（笠岡市婦人協議会）の支援
- (2) 家庭教育推進事業（笠岡市PTA連合会）の支援
- (3) 公民館活動推進事業（笠岡市公民館協議会）の支援

**成 果** それぞれの団体が、自主的な運営ができるように、団体運営での諸問題に対して助言や支援を行った。各種事業への積極的な参加を呼びかけ、生涯学習、社会教育の充実に努めた。それぞれの団体の規模が縮小の傾向にあるが、活動の維持に努めることができた。

## 3 公民館活動の推進

**事業概要** 地域の生涯学習の拠点として、地域課題や時代に即応した幅広い活動を行い、地域づくり、まちづくりに努める。

取組状況 (1) 中央公民館主催・自主講座

項目	主催講座		自主講座	
	平成 28 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 27 年度
講座数	7 講座	7 講座	51 講座	49 講座
開催回数	146 回	137 回	1,081 回	1,038 回
受講者	3,124 人	2,203 人	12,452 人	11,791 人

(2) 中央公民館講座修了作品展

開催日時	平成 28 年度	平成 27 年度
		平成 29 年 3 月 11～12 日
発表講座	58 講座	56 講座
来場者	524 人	504 人

(3) 地区公民館各種講座，文化祭等による作品発表会

地区公民館 20 館 369 講座開催（平成 27 年度 355 講座）

(4) 公民館指導者の育成

- ・公民館協議会（館長・主事会） 年 2 回開催
- ・主事研修会 年 3 回開催
- ・県公民館連合会等公民館等職員研修会 年 4 回参加

(5) 地区公民館活動助成事業

地区公民館 20 館 109 事業実施（平成 27 年度 110 事業）

(6) 公民館施設整備事業

施設・設備の整備については緊急度の高いものから整備を行っている。

整備費

項目	内容	平成 28 年度	平成 27 年度
公民館施設整備	整備費	21,419 千円	11,289 千円
地区公民館活動助成費	助成費	6,000 千円	6,000 千円

整備費内訳

公民館名	整備内容	事業費（千円）
陶山，大島，六島	空調設置工事	1,488
神島外，飛島	空調改修工事	3,548
陶山，神島，白石	トイレ改修工事	10,144
吉田，白石	屋根塗装工事	3,769
金浦	駐車場舗装工事	972
神島外，北木，真鍋島外	印刷機・複合機等購入	1,498

成 果 県公民館連合会等の実践的な研修に参加することにより，公民館指導者としての力量の向上を図ることができた。

老朽化した施設の改修により，安心して学習できる環境づくりを推進す

ることができた。

公民館活動助成事業では、地区公民館の創意工夫した事業を推進し、多種多様な活動を通じて教養を深めるとともに、地域の交流を深めることができた。

#### 課題・方向性

まちづくり出前講座や生涯学習フェスティバルでは、市民の関心が高いテーマを提供することにより受講者・参加者数を増やすことができたが、諸学級数は減少となった。今後は、ニーズに応じた内容やPR方法に工夫をし、生涯学習のまちづくりを推進していかなければならない。

公民館や宿泊研修施設をより多くの人に利用してもらうために、引き続き魅力ある講座や体験プログラムを企画し、新たな受講生、利用者確保する必要がある。

子どもや若者、働き盛りの世代も含めて、地域住民全体が気軽に集える交流の場や居場所となるよう努め、若者が参加のできる地域づくりの拠点として社会の要請に的確に取り組んでいかなければならない。

#### 自己評価 B

市民のニーズに合わせた学習機会を提供することができたが、より学習意欲を引き出す工夫や周知を図っていききたい。

社会教育関係団体の支援として補助金を交付するだけでなく各団体の課題等に対し助言や支援を行い、充実した生涯学習、社会教育の実施ができるように努めた。今後は継続的な活動を実施するだけでなく積極的に取り組むことで各団体の維持に努めていきたい。

中央公民館、地区公民館等の社会教育施設を中心とした学びでは、それぞれの地域のニーズにあった講座等を実施しているが、より一層工夫等を行い、新規受講生を確保していききたい。



点検・評価項目

青少年の健全育成

担 当 課

生涯学習課・学校教育課

**目 標** 青少年の心と体の健全な発展を促し、自主性・社会性を持った豊かな人間性を育むため、青少年の自立への支援、青少年を取り巻く有害環境対策の推進、自然体験活動の充実等により、青少年の健全な育成活動を推進する。

### 事 務 事 業

#### 1 家庭教育の充実

**事業概要** 家庭や家族を取り巻く社会環境の著しい変化にともなう不登校やニート、引きこもりなど、様々な課題に対応するため、家庭教育機能の充実、相談体制の整備充実並びに家庭の教育力向上を図る。

**取組状況** 教育相談室事業（家庭教育相談・子育て相談・学校適応相談）の実施  
＜相談延数＞ 496 件（本室 462 件，分室 34 件）

**成 果** 学校生活，家庭生活又は社会生活において悩みをもつ児童・生徒及びその保護者に対して，その悩みや不安を受け止めるとともに，学校教育と連携しながら保護者に相談，助言を行った。

#### 2 家庭・学校・地域社会の連携強化

**事業概要** 青少年の健全育成を推進するため，家庭・学校・地域社会・関係機関等の連携を強化し，地域ぐるみで活動の拡大を図る。

**取組状況** (1) 地区青少年健全育成推進事業（11 地区）の実施

補助金を交付し，地域の状況に応じた青少年の健全育成に役立った。

(2) 第 39 回青少年健全育成推進大会の実施

明るい家庭づくり作文と青少年スピーチコンテストの優秀作品の発表を行った。

参加者数	28 年度	160 人	27 年度	200 人
------	-------	-------	-------	-------

(3) 明るい家庭づくり作文募集と文集発刊

1,278 点の応募から優秀作品を選考し，文集にまとめ発行した。

(4) 子ども情報誌「ぼっけえかさおか わんぱく宝箱」発刊（4 回）

イベント情報やクイズで好評を得た。

発行部数（1 回あたり）28 年度 5,420 部 27 年度 5,400 部

(5) 第 12 回青少年スピーチコンテストの実施

小中学生計 8 名が約 90 人の聴衆の前で自分の考えを披露した。

(6) たくましい笠岡っ子育成事業（市内全域7回）の実施

子ども自身が主体的に活動していく中で、たくましさを身につけていくことをねらいとして、小学校3年生から6年生を対象に、自然体験活動、社会体験活動を行った。

参加者数            28年度    152人    27年度    167人

(7) 放課後子ども教室の開催（市内9教室）

小学生が安全で安心して健やかに成長できるよう市内9か所で土曜日・日曜日、夏休み等の長期休暇期間を利用して年間約60日実施した。（笠岡東公民館、笠岡公民館、今井公民館、陶山公民館、大井公民館、大島公民館、神島外公民館、NPO法人ハーモニーネット未来、番町コミュニティハウス）

(8) 学校支援地域本部事業の実施（市内10地区）

校内環境整備、学習支援活動、安全指導支援活動等を地域住民による学校支援ボランティアにより、前年度より2地区多い10地区で実施をした。（金浦中学校区、新吉中学校区、大島中学校区、北木島中学校区、中央小学校区、神内小学校区、神島外浦小学校区、笠岡小学校区、北川小学校区、六島小学校区）

(9) 土曜日教育支援事業の実施（市内8教室）

前年度より1教室多い市内8か所で土曜日等における土曜日授業、土曜日の課外授業支援や土曜学習等として、保育士体験活動、茶道教室や英会話教室などを実施した。（笠岡東公民館、笠岡公民館、今井公民館、陶山公民館、大井公民館、大島公民館、神島公民館、NPO法人ハーモニーネット未来）

成 果    家庭・学校・地域の連携強化を図ることにより、地域ぐるみで子どもたちの安全を確保し、地域の教育力の向上とともに子どもたちの健全育成に努めた。また、学校支援地域本部事業等の実施地区の増加等、子どもたちに豊かで有意義な教育支援活動を提供した。

### 3 青少年団体の育成

事業概要    子ども会やスポーツ少年団等のグループ活動を奨励し、各種体験活動の機会を充実しながら、互いの連帯感やボランティア精神の醸成に努める。

取組状況    (1) 笠岡子どもフェスティバルの開催

連休のイベントとして定着しているが、大幅な参加者数の減少となった。

参加者数            28年度    2,300人    27年度    3,000人

(2) 子ども会活動の促進への取組み

少子化、未組織化により笠岡市子ども会育成連絡協議会の運営が

困難になってきている。単独事業から、実行委員会形式の事業への参加へ移行している。

### (3) 高校VYS活動への取組み

市内の2高校を中心として結成されている高校VYSを育成している。

生涯学習フェスティバル、青少年スピーチコンテスト、ゆびとまフェスティバルなどの行事のサポートやカブトガニ保護啓発活動、リフレッシュ瀬戸内などの清掃活動を行った。

笠岡商業高等学校、笠岡工業高等学校の2校の会員で運営しているが、市内の他の高校への広がりが今後の課題である。

**成 果** 単位子ども会、高校VYS部員が減少する中、子ども会ではウォークラリーやパン作りを、高校VYSでは熊本地震義援募金や笠岡諸島海岸清掃などのボランティア活動を行うなど工夫をしながら団体又は会員数の減少に歯止めをかけるよう努力し、活動の場を広げることができた。

子どもフェスティバルでは、各種団体やサークルによるレクリエーションを通じて、子どもが一日のびのびと遊びながら親子のふれあいを提供することができた。また、ボランティアスタッフとして多くの市民や学生に参加してもらうことができた。ただし、参加者数は大幅に減少したため、今後の課題としてレクリエーションや周知方法等の見直しが必要である。

## 4 非行防止活動

**事業概要** 青少年の非行防止のため、家庭・学校・地域や関係機関等と連携して、補導・相談・環境浄化・啓発活動等に取り組み、青少年の健全育成と地域社会の意識向上を図る。

**取組状況** (1) 笠岡青少年育成センター（笠岡市及び里庄町青少年育成協議会）

・補導活動 補導1人 注意82人 声かけ623人

・相談活動 電話相談1件 メール相談1件

・有害環境浄化活動（白ポスト6か所設置）

本395冊 DVD106枚 ビデオ7本

・啓発活動（街頭キャンペーン11月）のべ7団体23名参加

・研修会等の開催 「少年補導の現状と課題」

・学校との連携 「高等学校補導連絡会」「中学校生徒指導連絡協議会」

(2) 研修会等への参加

・岡山県補導（育成）関係者研修会（和気町）10名

・貴船原少女苑研修視察14名

成 果 家庭・学校・地域や関係機関等と連携して、補導・相談・啓発活動を展開することにより、青少年の健全育成、非行防止、安全確保の推進をすることができた。補導活動においては、積極的な声かけに努めることで補導件数の減少につなげることができた。また、公園やゴミの多い道路等、自主的に環境を浄化する活動に取り組む住民が増えてきている。

#### 課題・方向性

事業の実施において、青少年の動向を踏まえた健全育成事業の実施や指導員をはじめとした育成事業のサポーターの拡充が必要である。また、子どもや青少年が夢や希望を持ち、安心して生活できる地域づくりが推進できるよう地域住民や関係機関との連携を深める必要がある。

さらには、子どもの能力を引き出すための各種事業については、関心や興味を持ち、より多くの参加が得られるよう創意工夫し充実を図る必要がある。

#### 自己評価 B

家庭、学校、地域社会の連携を図りながら、青少年の健全育成に努力してきた。

学校支援地域本部事業の実施地区の増加など、学校、家庭、地域の連携を強化し、地域ぐるみでの活動を拡大することができた。

青少年団体の育成では、対象となる人数が少なくなる中で、団体それぞれが工夫を行い、充実した活動ができるよう、指導・助言を行った。

非行防止活動についても、家庭、学校、地域や関係機関と連携して、青少年の健全育成と地域社会での意識の高揚を図ることができた。

点検・評価項目

人権教育・啓発の推進

担 当 課

学校教育課・生涯学習課

**目 標** 笠岡市人権尊重の都市づくり条例や笠岡市人権施策基本方針に基づき、すべての人々の人権が真に尊重される社会の実現を目指し、家庭・地域・職場等、あらゆる日常生活の場において人権尊重の精神が態度や行動に表れるような人づくりを推進する。推進に当たっては、指導者の資質と指導力の向上に努めるとともに、多様な学習機会を確保する。また、人権問題に起因する教育上の課題を克服するための支援に努める。

### 事 務 事 業

#### 1 教育・啓発活動の推進

**事業概要** 同和問題をはじめとする様々な人権課題について、主体的に解決に取り組む実践的態度を養うため「知的理解の深化と人権感覚の育成」「自立支援」「人権を尊重する環境づくり」を中心に各活動を実施する。

**取組状況**

- (1) 地域公民館人権啓発事業
- (2) PTA人権教育推進事業（幼稚園，小・中学校PTA）
- (3) 笠岡市教育集会所事業（自立促進，交流活動，相談事業等）
- (4) 人権教育自立促進事業
- (5) 子ども会活動への支援
- (6) 社会教育諸団体等での研修（婦人協議会，女性学級，幼児学級等）
- (7) 行政職員各種研修
- (8) 笠岡市内企業・事業所等人権教育研修
- (9) 多様な啓発活動（個別の人権問題についての啓発）
- (10) 笠岡市人権教育講演会，笠岡市人権問題講演会
- (11) 第30回笠岡市人権・部落解放文化祭

**成 果** 第30回笠岡市人権・部落解放文化祭に、1日目に桂ぼんぼ娘さんの落語と講演会等を行い、830名の参加があった。また、2日目には親子デュオのフラットワールドさんのトーク&コンサート等を行い、988名の参加があった。

2日間の来場者は1,818名で、昨年度より増加した。

#### 2 人権教育推進組織の活性化

**事業概要** 人権教育を推進するために、各委員会を設置し、同和問題をはじめとする様々な人権問題の解決に向けて、研修等を行う。

**取組状況** (1) 笠岡市人権施策推進委員会

- (2) 笠岡市人権教育推進委員会
- (3) 笠岡市教育集会所運営委員会
- (4) 笠岡市企業等人権問題連絡協議会
- (5) 第30回笠岡市人権・部落解放文化祭実行委員会

成 果 第30回笠岡市人権・部落解放文化祭実行委員会では、人権・部落解放文化祭の実施のために、企画・運営に取り組み、人権啓発に努めた。

### 3 指導者の養成

事業概要 人権担当者等の研修を行う。

- 取組状況
- (1) 行政職員人権問題指導者講座
  - (2) 人権保育研修講座
  - (3) 各種団体指導者研修
  - (4) 笠岡市人権啓発バンク

成 果 行政職員人権問題指導者講座では、国や市の人権施策についての研修や人権啓発ビデオを視聴し、様々な人権問題についての理解を深めた。

#### 課題・方向性

人権問題を一人ひとりの問題として捉え、人権意識の高揚を図るためには、研修や啓発において、市民が理解しやすい内容にすることに努めていく必要がある。

#### 自己評価 B

様々な人権問題の解決について、人権教育推進事業を行い、学校・社会・地域での人権教育の推進を図ったが、参加者を増やすために内容の検討や呼びかけの仕方等工夫する余地がある。また、人権啓発事業等では、高齢者、三世代交流、「命の大切さ」を学ぶ講演会など、様々な問題が取り上げられており、新たな課題とともに身の回りにある問題などを取り上げ、工夫していくことで人権感覚の育成を図っていきたい。

## 《 創造性を育む文化の振興と文化財の保護・活用 》

点検・評価項目	芸術文化活動の普及・振興
担 当 課	生涯学習課

目 標 市民参加による幅広い文化活動と文化施設の活用を促進し、文化を担う人づくりを推進する。

### 事 務 事 業

#### 1 芸術文化活動の振興及び交流

事業概要 芸術文化活動への積極的な参加を奨励するとともに、心豊かな文化意識の高揚を図る。

#### 取組状況

事業名	平成 28 年度	平成 27 年度
能・狂言体験学習（実施学校数）	6校	6校
名月観賞の夕べ（来場者数）	11会派 500人	13会派 500人
笠岡市菊花展（出品数） （来場者数）	250鉢 1,600人	250鉢 2,000人
笠岡市芸能祭（来場者数）	13会派 200人	13会派 400人
笠岡市文化祭（出品数） （来場者数）	442点 1,600人	448点 2,000人
笠岡市児童・生徒美術展（出品数） （来場者数）	519点 2,200人	523点 1,400人
笠岡市さつき新緑展（出品数） （来場者数）	104鉢 414人	98鉢 540人
笠岡市写真展（出品数） （来場者数）	120点 429人	134点 469人
笠岡市美術展（出品数） （来場者数）	163点 2,100人	174点 1,000人
森田思軒顕彰講演会（来場者数）	60人	60人
笠岡市立図書館（蔵書数） （貸出冊数） （利用者数） （利用者カード登録者数） （来館者数）	169,631冊 225,023冊 53,113人 16,184人 65,900人	163,437冊 226,102冊 54,351人 15,439人 65,840人

(映画会・読み聞かせ会・本のリサイクル会等自主事業参加者数)	931人	1,243人
(出張おはなし会等参加者数)	398名	27名
笠岡市立カブトガニ博物館 (入館者数)	68,013人	61,088人
特別展示・特別陳列 (入館者数)	(34,484人)	(31,434人)
内訳 「モンコレ!～2016年夏の珍作コレクション」展	22,149人	—
「ヒサクニヒコの夢の世界」	12,335人	—
マスコットキャラクター拡充事業		
・カブニとカブ海の結婚式 (7/24)		
・カブニとカブ海の子供の着ぐるみ製作		
・子供の命名式「カブ希」 (2/26)		
笠岡市立竹喬美術館 (入館者数)	13,531人	
特別展「希代の文人 没後70年 津田白印展」 (入館者数)	(1,872人)	15,244人
特別展「パリに生きるパリを描く—M氏秘蔵コレクションによる展」 (入館者数)	(3,123人)	
特別展「近代花鳥画の巨匠 榑原紫峰展」 (入館者数)	(2,843人)	
笠岡市井笠鉄道記念館 (入館者数)	3,806人	4,019人

( )は内数

成 果 笠岡市文化祭をはじめとする文化行事を実施し、また小中学校では能・狂言の体験学習により児童・生徒の伝統芸能への関心や理解を深めるなど、多数の市民参加による文化の振興を行った。

図書館の貸出冊数や利用者数等の利用状況は、横ばいであるが、来館者数は増加傾向にある。予約やリクエスト、利用者からの質問等に対する資料提供（レファレンスサービス）を充実させ、図書館が身近な存在となるように努めた。また、「笠岡子ども司書」養成講座や様々な展示、ブックスタート、出張おはなし会など、他部署との連携をとりながら事業を行った。

カブトガニ博物館においては、特別展示「モンコレ!～2016年 夏の珍作コレクション」展、そして、特別陳列「ヒサクニヒコの夢の世界」展を開催することで年間の入館者数の増加に努めた。また、マスコットキャラ



クター拡充事業を実施し、カブトガニの保護とカブトガニ博物館を広くPRすることができた。

竹喬美術館では、神戸市立小磯記念美術館と稲沢市立荻須記念美術館との共催による「パリに生きるパリを描く」展により全国的な注目を受け、多くの入館者を得た。また、「榊原紫峰」展は、代表作を網羅した久し振りの回顧展として関西方面よりの来館が多く、国展創立100周年を前に有意義な企画であるとの評価を得た。

## 2 文化施設及び文化環境の整備

**事業概要** 文化活動の拠点となる文化施設の整備及び機能の充実と連携を図り、活力ある文化環境の整備を図る。

**取組状況**

事業内容	平成28年度	平成27年度
飼育室空調機更新工事, シアター映像制作	2,278千円	5,571千円

**成果** カブトガニ博物館では、飼育室の空調改修や新たに市内の繁殖地で撮影を行った映像を制作し、来館者にカブトガニへの理解と繁殖地の保護に繋がる映像展示の充実を図った。

## 3 笠岡市文化・スポーツ振興財団との連携

**事業概要** 公益財団法人笠岡市文化・スポーツ振興財団と連携を密にし、財団と一体になって地域文化の振興を図る。

**取組状況**

項目	平成28年度	平成27年度
笠岡市木山捷平文学選奨（応募者数）		
短編小説部門	286人	234人
詩・短歌・俳句・川柳 小中学生の部	3,232人	2,376人
詩・短歌・俳句・川柳・随筆 一般の部	114人	120人
優秀映画鑑賞会（参加者数）	73人	59人
文化活動後援事業（後援件数）	94件	102件
文化活動賞揚事業（賞揚件数）	7件7人	10件7人
民俗芸能支援事業（補助金）	新山の盆踊りの活動支援	

**成果** 笠岡市木山捷平文学選奨は第12回となり、全国公募の短編小説は43都道府県から286作品（前年+52作品）、他部門は3,346人（前年+850人）で、木山捷平の偉業を全国に発信することができた。

また、優秀映画鑑賞会、文化活動の後援、全国大会・中国大会出場者への賞揚、文化特別賞の表彰、伝統文化の活動支援を実施し、地域文化の高揚を図った。

#### 課題・方向性

芸術文化活動は、担い手の固定化が見られるため、市民が芸術文化に触れる機会をさらに増やすとともに、広報活動にも力を入れていく。

民俗芸能支援事業は今後も継続し、市内の伝統文化振興の一助としたい。

文化施設の改修や充実は、これからも計画的に行い、展示品の充実を図っていく必要がある。

笠岡市木山捷平文学選奨事業については応募者数は増加しているが、一般の部における高校生の応募者数をさらに増やすため、引き続き高校訪問等による協力依頼を行う。

#### 自己評価 A

芸術文化活動については、小中学校で能・狂言の体験学習を実施し、伝統芸能への関心や理解を深めることができた。

カブトガニ博物館、竹喬美術館などの施設については、それぞれの館の役割を認識し、文化活動の拠点となる文化施設としての環境整備に努めていきたい。

開館から3年目となる井笠鉄道記念館は、年間約3,800人の来館者数を記録し、施設の保存と活用による地域の活性化に貢献することができた。

笠岡市木山捷平文学選奨の応募者数は増加傾向にあり、短編小説賞での応募者も全国的な広がりを見せている。

民俗芸能支援事業は、地域への愛着、郷土愛を育み、地域を愛する子どもを育成することができた。また、団体への支援により、市内の伝統文化の振興を図ることができた。

点検・評価項目 文化財の保護・保存と継承

担 当 課 生涯学習課

目 標 文化財の保護・保存と継承を図るため文化財を調査研究し、保存管理に努める。また、民俗、考古、歴史資料の収集に努め、適切な保護・保存と公開展示に努める。

### 事 務 事 業

#### 1 文化財の調査研究と啓発・活用

##### 事業概要 (1) 文化財の保護事業

先人から受け継いだ歴史と伝統を守り、後世に伝えるとともに、それを大切に思う風土を育む。そのために、優れた文化財の保護・保存を図る。また、急激な変化や消滅の危機にさらされた文化財を調査し、適切な記録・保存を図る。

##### (2) カブトガニの保護・増殖事業

笠岡を代表する天然記念物「カブトガニ繁殖地」を維持するために、カブトガニの増殖と繁殖地の保護・啓発活動に取り組む。

##### (3) 文化財の活用事業

郷土館や長福寺裏山古墳群などの文化財関連施設を管理するとともに、文化財を活用し保護意識の高揚を図る。

##### 取組状況 (1) 文化財の保護事業

史跡「津雲貝塚」保護のための調査事業として、貝塚の範囲確認発掘調査及び過去の出土品調査等を実施した。また、市道拡幅工事に先立つ記録保存の発掘調査として、関戸廃寺の確認調査を実施した。

##### (2) カブトガニの保護・増殖事業

7月にカブトガニの幼生を500匹放流した。また、干潟の荒廃を防ぐため、潮干狩りの自粛を訴える監視活動を行った。繁殖地内のカブトガニ産卵調査で56箇所産卵を確認し、544匹の幼生を確認した。

##### (3) 文化財の活用事業

笠岡市の歴史文化遺産の保存・活用方針を定めるために「笠岡市歴史文化基本構想」策定に着手し、文化財の総合的把握に取り組んだ。また、文化財めぐりハンドブックを活用して市内小学生と保護者を対象とする文化財ラリー「笠岡をもっと知り隊」を実施した。結果として211枚の文化財レポートが集まった。

成 果 津雲貝塚の保存に向けて、遺跡現地と過去の出土品の実態を解明するこ

とができた。また、歴史文化基本構想の策定を目指して、文化財の総合的な調査も進んでいる。さらに、文化財ラリー企画によって、小学生と保護者に郷土の文化財について関心を持ってもらうことで、郷土への愛着を涵養することができた。

カブトガニ繁殖地周辺においては、平成21年度から8年連続してカブトガニの自然産卵を確認することができた。また、カブトガニの自然産卵の様子を映像に収めた福山大学との共同調査は平成26年から引き続き継続している。幼生放流と合わせて保護したカブトガニの成体放流行事を行うことができ、カブトガニと繁殖地の保護の成果が現れている。

## 2 文化財資料の収集・整理

**事業概要** 笠岡市に関する文化遺産を収集・整理し、後世に伝える。また、その成果を郷土館等で展示し、市民に還元する。

**取組状況** 歴史資料、古文書等の寄贈が13件あった。中には、笠岡工業高校グラウンド遺跡出土品や、笠岡の船大工道具など特筆すべき資料も含まれている。受納資料は順次整理し、保管している。

**成果** 貴重な資料の寄贈・寄託を受け入れることで、歴史上価値ある文化財を保護することができた。また、展示等で公開・活用することにより、先人から受け継いだ歴史と伝統を後世に伝えることができた。

### 課題・方向性

津雲貝塚調査事業は、残り2カ年で調査成果をまとめることとしており、引き続き多大な労力を要する必要がある。発掘調査と活用事業との両立が課題となっている。また、歴史文化基本構想も残り2カ年で策定する予定であり、計画的に業務を実施する必要がある。

カブトガニ保護・増殖のために、潮干狩りの自粛を訴える監視活動を継続的に行うとともに、カブトガニ保護啓発運動や海岸清掃活動を通して、市民ぐるみで笠岡の海の環境保護に努める必要がある。

### 自己評価 A

文化財の保護・保存と継承を図るため、引き続き史跡「津雲貝塚」の保存に向けて、調査を継続した。また、歴史文化基本構想の策定により、文化財の保存・活用について大きな方向性を示すことが期待される。

カブトガニ繁殖地周辺において、8年連続してカブトガニの自然産卵を確認することができるなど、確実に保護活動が実を結びつつある。今後も、カブトガニの保護・啓発を通して天然記念物「カブトガニ繁殖地」の保護並びに海の環境保護意識の高揚に努めたい。

## 《 豊かな生涯スポーツの推進と競技レベルの向上 》

点検・評価項目	生涯スポーツの推進
担 当 課	スポーツ推進課

**目 標** 健康で生きがいを持った生活を送るための生涯スポーツ実施者の増加を図る。

### 事 務 事 業

#### 1 各種スポーツ教室・大会の開催，地域スポーツ団体の支援・育成

**事業概要** 初心者を対象としたスポーツ教室や誰でも参加できるニュースポーツ大会等を開催して，生涯スポーツの推進を図る。

#### 取組状況（1）各種教室・大会の開催

教 室	対 象	平成 28 年度	平成 27 年度
バスケットボール教室	小学生	208 人	194 人
陸上競技教室	小学 4 年生 ～ 6 年生	145 人	368 人
レスリング教室(マット教室)	小・中学生	173 人	143 人
軟式野球教室	幼稚園年長～ 小学生	181 人	—
バドミントン教室	小 4 以上	72 人	55 人
卓球教室	小 4 以上	53 人	87 人
テニス教室	高校生以上	108 人	119 人
シャフルボード講習会	制限なし	75 人	107 人
幼児スポーツ教室	幼児・園児	480 人	740 人
オリエンテーリング大会	制限なし	215 人	104 人
ニュースポーツ大会 (シャフルボード)	小学生以上	96 人	144 人

#### （2）地域スポーツ団体の支援・育成

団 体	平成 28 年度	平成 27 年度
スポーツ少年団	343 人 (14 団)	339 人 (14 団)
総合型スポーツクラブ	236 人 (3 団体)	337 人 (3 団体)

**成 果** 少子化が進み，スポーツ少年団員数も年々減少している中で，指導者と地域の密接な連携を図り活動することで，団数の確保に繋がっている。また，総合型スポーツクラブや各種教室・大会など市民のニーズに合った事業を展開することで，子どもから高齢者まで生涯スポーツの推進が図られた。

## 2 スポーツ推進委員活動の充実

**事業概要** 研修により市民のスポーツリーダーであるスポーツ推進委員の資質を向上させるとともに、スポーツ推進委員が地域に出向いてニュースポーツ等の指導を行い、生涯スポーツの推進を図る。

### 取組状況 (1) スポーツ推進委員の研修会開催

事業	平成 28 年度	平成 27 年度
生涯スポーツ推進企画会議	7 回	7 回
実技研修会開催 H27 ショートテニス・バウンドテニス・ストライクホーリング・ ディスクビンゴ・キンボール・ショートテニス H28 シャフルボート・ショートテニス シャフルボート・キンボール	2 回	2 回

### (2) スポーツ推進委員派遣事業の拡大

事業	平成 28 年度	平成 27 年度
地域派遣推進事業	50 回 183 人	53 回 208 人

**成 果** スポーツ推進委員の知識・技能向上のため、全国・中国・県内の研修会へ積極的に参加し、専門的知識と指導力の向上を図った。また、スポーツ推進委員を地域に派遣し、子どもから高齢者まで幅広い年齢層を対象とした、健康体操やニュースポーツなどのスポーツ・レクリエーションを推進した。近年は、いきいきサロンなど高齢者が激しい運動をすることなく、健康を維持できる体操やゲームなどの需要が高くなっている。

## 3 スポーツ情報の提供

**事業概要** スポーツに関わる機会の提供を行うため、スポーツカレンダーの作成、市広報、ホームページを利用して、スポーツ団体、スポーツイベントの情報を発信する。

### 取組状況 (1) スポーツイベント情報の提供

広報、新聞、テレビなどのメディアを使ってスポーツイベントの情報提供を行った。また、スポーツカレンダーを作成し、体育施設や公民館に配布するとともに、笠岡市のホームページへの掲載を行った。

### (2) スポーツ団体情報の提供

市内で活動するスポーツ団体から収集した情報を情報誌「笠岡市スポーツサークル」にまとめて体育施設や公民館に配布するとともに、笠岡市のホームページへ掲載した。

**成 果** 様々な情報提供の形態を確立し、多くの人へのスポーツ情報の提供が

可能となった。

#### 課題・方向性

平成 20 年度に実施した「運動・スポーツに関する調査」結果から、「きっかけがあれば何らかのスポーツをしてみたい、考えてみたい」という回答が 8 割を占めている。

特に、体力・健康づくり、スポーツを通じた高齢者の生きがいづくりに関する情報の希望が 5 割という状況から、子どもから高齢者まで、生涯にわたりスポーツ活動が実践でき、気軽に参加できる、大会・行事・イベントの情報を提供していく必要があるため、新規提供方法の確立などさらに伝達率をあげていかなければならない。

#### 自己評価 B

現在、市内のスポーツ施設の大会情報を取りまとめて情報を発信しているが、公民館等各種団体と連携し、主催する行事・イベント情報を掲載し、生涯スポーツ誌として市民ニーズに沿った充実したものに展開していく必要がある。

点検・評価項目 スポーツ・レクリエーション施設の  
整備・充実と活用

担 当 課 スポーツ推進課

目 標 いつでも・どこでも・だれでも快適にスポーツが行える環境を整える。

事 務 事 業

1 施設整備及び充実

事業概要 かさおか古代の丘スポーツ公園どんぐり球場への防球ネットの設置、笠岡運動公園のプールのろ過器配管替え工事などを行い、利用者の利便性を図った。

取組状況

事業名	事業費
かさおか古代の丘スポーツ公園防球ネット設置工事	12,582千円
笠岡運動公園水泳プール滑り台撤去工事	783千円
笠岡運動公園プール滑り台設置工事	1,049千円
笠岡運動公園水泳プールろ過器配管替工事	2,791千円
笠岡運動公園野球場改修工事	5,724千円

成 果 利用上危険な箇所の改修を行い、また、設備の更新等により、快適な環境でスポーツを楽しむことに繋がった。

2 利用しやすい環境の整備

事業概要 老朽化した施設や設備の修繕、利用者から要望が出ている事項の改善を行い、快適なスポーツ環境の整備に努める。

取組状況

事業名	事業費
茂平運動場防球ネット修繕	129千円
茂平運動場フェンス修繕	275千円
笠岡総合体育館メインアリーナ空調冷温水器修繕	467千円
笠岡総合体育館男女シャワー室水栓修繕	60千円

成 果 利用者が快適かつ安心して利用できるようになった。

課題・方向性

どの施設も老朽化が進んでおり、また、利便性の向上を図るべき施設も多く、今後は計画的に整備を行う必要がある。

自己評価

B



大規模改修施設について、緊急かつ効果的な修繕対応を継続して実施する。

**点検・評価項目** 競技スポーツの推進

**担 当 課** スポーツ推進課

**目 標** 競技スポーツ人口の増加と競技力の向上を図る。

**事 務 事 業**

1 各種スポーツ大会の開催（主催）

**事業概要** 練習の目標として、練習の成果確認の場として、あるいは選手相互の研  
さんの場とするために各種スポーツ大会を開催する。

**取組状況** スポーツ大会の開催

大 会 名	平成 28 年度	平成 27 年度
笠岡市民体育大会	1,915 人	1,769 人
べいふあーむ笠岡マラソン大会	1,907 人	2,389 人
カブトガニ駅伝大会	457 人	404 人
子どもソフトボール大会	8 チーム	8 チーム
青少年柔剣道大会	83 人	105 人
バドミントン大会	136 人	150 人

**成 果** 継続した大会を開催することにより、競技人口の確保が図られた。

2 競技会等の支援

**事業概要** 競技レベルを向上させる為に実業団やプロスポーツ選手の招へいや大会  
の支援を行う。

**取組状況**

競 技 会 名	平成 28 年度	平成 27 年度
べいふあーむ駅伝大会	20 チーム	23 チーム
GⅢプロジェクト	2 チーム	—
全国高等学校総合体育大会 ウエイトリフティング競技大会	選手 142 校, 407 人 役員 551 人 来賓者延約 5,000 人	—

成 果 べいふあーむ駅伝(実業団)では、全国レベルの実業団駅伝を継続的に笠岡市で行うことで、競技者及び指導者のレベルの向上に繋がっている。

また、GⅢプロジェクトでは東京読売ジャイアンツの3軍と実業団チームであるJFE西日本の交流試合を誘致することで、市民のスポーツへの関心を高めた。

全国高等学校総合体育大会ウエトリフティング競技大会では、地元の笠岡工業高等学校の活躍もあり、大変盛り上がった。市内の高校生もボランティアとして参加していただき、運営がスムーズに行えた。

地元高校生の活躍で、市民の関心も高かった。

### 3 スポーツ指導者の養成，トレーナースタッフの確保

事業概要 全国大会等への出場を促進するため、高度な専門的知識と指導力をもつ指導者の養成と選手のコンディション維持を図るため、トレーニング指導や技術指導を行う機会を提供する。

取組状況

#### ① スポーツ推進委員協議会

日 時	開 催 名
H28. 6. 25～26	中国地区スポーツ推進委員研修会
H28. 7. 23～24	岡山県生涯スポーツ研究大会
H28. 11. 5	岡山県スポーツ推進委員協議会・備南支部研修会
H29. 3. 4	桃スポキッズチャレンジフェスタ

#### ② スポーツ少年団指導者協議会

日 時	開 催 名
H28. 10. 1～2	スポーツ少年団認定員養成講習会 5名

#### ③ シーガールズ強化合宿

日 時	開 催 名
H28. 12. 26～30	大学，高等学校及び中学校 強化合宿 17校

成 果 各セクション別の指導者養成講習会等への参加及びアスリート選手からの指導の場を設け、指導者及び選手の技術の向上を図った。

### 4 優秀選手の表彰

事業概要 公益財団法人笠岡市文化・スポーツ振興財団と予選会を経て中国大会・全国大会や世界大会に出場する選手・団体に賞揚金を交付するとともに、

全国大会以上の大会に出場の場合は激励会を開催して意気の高揚を図る。

取組状況

<中国大会・全国大会等優秀選手の賞揚>

平成28年度 8団体202人      平成27年度 4団体186人

成 果      賞揚を受けた選手自身のレベルアップと意欲の高揚となるとともに、周辺関係者への刺激ともなり、競技スポーツの推進につながった。

5 笠岡市文化・スポーツ振興財団，笠岡市体育協会等との連携

事業概要      笠岡市文化・スポーツ振興財団，笠岡市体育協会などと連携して各種大会，選手等の賞揚を行い，より広くスポーツ推進を展開する。

取組状況

(1) 各種スポーツ大会の運営委託

(2) 各種スポーツ大会の共催・後援等

大会名	平成28年度	平成27年度
バレーボール大会（中学生）	4チーム	4チーム
少年野球フェスティバル	16チーム	14チーム
ソフトテニス大会	169人	184人
バレーボール大会（一般）	95人	91人
空手道選手権大会	34人	20人
ソフトバレーボール大会	125人	151人
ゲートボール大会	32人	35人
ペタンク大会	46人	150人
年齢別卓球大会	146人	194人
バドミントン大会	185人	250人
スポ少ソフトボール交歓大会	8チーム	8チーム
剣道大会	30人	34人
サッカーフェスティバル	32チーム	32チーム
軟式野球大会（中学生）	6チーム	8チーム
ソフトボール大会	2チーム	2チーム
グラウンド・ゴルフ大会	—	217人

(3) 全国大会出場者（団体）激励会の開催

(4) 全国大会等功績者の特別表彰

成 果 笠岡市文化・スポーツ振興財団，笠岡市体育協会等と連携する事により多様な大会を開催し，広くスポーツ推進を展開した。また，多くのスポーツ功労者の賞揚ができ，選手の支援や競技スポーツの振興に寄与した。

#### 課題・方向性

笠岡市文化・スポーツ振興財団，笠岡市体育協会等とさらに連携を密にし，①選手への支援，②スポーツ指導者の養成，③大会の開催・誘致に取り組み，競技スポーツの推進を図る必要がある。

マラソン大会では，小学生のクラスで参加者の殆どがコースを間違えるという事故が起きた。大会運営が，マンネリ化し緊張感のある業務遂行が出来ていなかったためと，考えられる。不測の事態も踏まえ，最悪の事態を想定した準備・対応をとるよう気持ちを入れ替えて取り組んでいく必要がある。

#### 自己評価 B

競技スポーツ推進の一環として，大会開催の支援，選手への賞揚等を行い，競技スポーツ全体のレベルアップを図り，スポーツに対する市民意識の高揚に繋がった。

### Ⅲ 評価委員の総合評価

松 畑 熙 一 委 員

「平成 28 年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価報告書」及び関連諸資料の点検に基づいて、笠岡市教育委員会の事務管理・執行状況を見ると、本点検・評価の目的として掲げられている「効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民に対する説明責任を果たしていくこと」の目的も概ね達成されている。

「笠岡市教育行政重点目標」の主要施策の遂行において、重点施策毎に目標・指標に基づく達成状況やさらなる課題がかなり具体的に示され、順調な成果を上げつつあることを知ることができ、総合的にみて「概ね達成された」と、高く評価できる。

続いて、一層の教育行政成果を期待し、今後の主要な課題・改善点を指摘する。

- 1 変化の激しい現代社会にあつて、時代が要請している教育課題は何かを深く総合的に検討し、これからの教育が向かうべき基本方向を見定めながら、今までややもすると「マニュアル教育」になりやすかった点を反省して、「自主的・対話的で深い学び」に基づく「創造的人間像」を基本とした教育振興計画を立てて各種教育活動を進めてほしいこと。
- 2 「自立して共に生きる子どもを育てる学校教育の推進」の目標において、学校の授業の充実を最優先して、授業時間以外での学習をむしろ必要最小限にすることを目指し、特に、「学びたい」と思う心である「学びに向かう力」（学習意欲）を育てることに努力してほしいこと。
- 3 「豊かな心と健やかな体をもつ子どもの育成」については、道徳教育が規範意識の高揚などに限定されることなく、広く感性の豊かさ、命の尊さ、自然への畏敬の念や「自然人間力」（自然に生かされて人間として生きる力）の育成を重視してほしいこと。
- 4 「安心して学習できる教育環境づくり」については、教師の労働時間の軽減に努めることによって多忙感を和らげ、児童生徒に向き合う時間をできるだけ多く確保できる体制を取るようさらに努めてほしいこと。
- 5 教育委員・事務局員及び教職員の研修については、できる限り研修成果を共有し、所属部局を越えた相互連携によって互いの資質向上と教育行政・実践活動の改善・充実となるよう努めること。

## 竹之内 金太 委員

平成29年度を区切りとする「第6次笠岡市総合計画 後期基本計画」及び「笠岡市教育大綱」に掲げる基本理念を具現化するための「笠岡市教育振興基本計画」「平成28年度教育行政実施計画」に目を通した。また、笠岡市教育委員会評価委員会において「平成28年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・報告書」に基づき、各担当の部署から説明を受けた。基本理念『人間尊重を基調に、生きる力を身につけた心豊かな人づくり』を具体的実現するために、教育関係の各部署が、たくさんの継続事業と新規・拡張事業に、PDCAサイクルの手法を取り入れ、目標値の設定をして取り組んでおり、目に見える成果が表れていることに敬意を表す。心豊かな人を育てる「笠岡の教育」が、市の内外で高く評価され地域に定着することを期待する。

以下で基本方針ごとに課題・方向性についての私見を述べる。

- 1 教育委員会の運営状況・教育委員会が管理・執行する事務については、たくさんの会議を運営する中で、新しい教育課題（小中一貫教育）、地域に応じた教育課題（学校規模適正化）などに遅滞なく取り組んでおり、教育行政基本施策を定め、活力ある教育行政が実施できていることが伺える。教育関係部局との連携をさらに推進することで、教育行政の一層の充実を図っていただきたい。
- 2 『自立して共に生きる子どもを育てる学校教育の推進』では、基本的な生活習慣の定着を目指した種々の学習支援の取組、中身の濃い食育指導の取組、非木造の耐震化の完了とトイレの洋式化などの教育環境の向上の取組、と顕著な成果が表れていることは大いに評価できる。その中で子どもの自己肯定感が弱い点は、内面の成長が不十分と考えることもできる。他人と接する中で自立した子どもとしての内面の成長を促す支援のあり方を模索していただきたい。  
薬物乱用防止の取組、今日的課題のいじめ問題・スマホ問題への取組については、継続して工夫しながら粘り強い取組をお願いしたい。
- 3 『心豊かな生きがいを育む生涯学習の推進』では、人口減少が進み地域の教育関係団体の規模が縮小傾向の中で、活動を継続・発展させるためには、強力な行政の支援が必要となり、相当苦戦を強いられている感もある。家庭・学校・地域との連携のあり方について、地域のニーズを適切に把握し、将来を展望した取組をスクラップ&ビルドの手法も使って再構築する視点での見直しを検討してはどうか。
- 4 『創造性を育む文化の振興と文化財の保護・活用』では、笠岡市の文化施設（カブト

ガニ博物館・竹喬美術館・井笠鉄道記念館・図書館など) や木山捷平文学選奨は、知名度が上がっている。その他の笠岡市の文化財と合わせて、地域住民とも連携し、地域での積極的な保護・活用を継続していただきたい。また、文化施設等を活用した企画で、多くの人を笠岡市に呼びこむため、広報紙やホームページなどを使っての広報活動を一層工夫・充実させ、さらに周知が図られることを期待したい。

- 5 『豊かな生涯スポーツの推進と競技レベルの向上』では、競技スポーツ、健康スポーツから生涯スポーツまで、質を高め競技人口を増やすための取組として、積極的にスポーツ教室や競技会を開催し、計画的に指導者の育成を行って成果を上げている。プロスポーツに接する機会は、地域住民にとってもありがたいことである。笠岡市の売りとなる競技・大会の支援に力点を置くという視点も持ちながら、さらに底上げを図っていただきたい。

## 大 山 美 智 子 委 員

「平成 28 年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価報告書」に基づいた各担当課からの説明を聞き、基本理念「人間尊重を基調に、生きる力を身につけた心豊かな人づくり」に向けて、継続的・安定的に取組を推進されていることが分かりました。また、笠岡市教育委員会の事務管理・執行状況についても、審議内容やその反映状況がきちんと整理されていると感じました。昨年度改善をお願いした市長と教育委員をメンバーとした総合教育会議についても協議内容が記載されていました。

それでは、各取組の中でいくつか私が感じたことを述べさせていただきます。

### 1 「自立して共に生きる子どもを育てる学校教育の推進」について

保幼小連携の接続カリキュラムの作成並びに活用に向けて、小学校に保幼小連携加配が 1 名、就学前教育アドバイザーが保育所・幼稚園にそれぞれ 1 名ずつ配置されたことは、大変意義あることだと思います。この 3 名の配置により、笠岡市の就学前教育と小学校教育がスムーズに接続されることと思います。

幼稚園一時預かり保育について「事業実施要綱」が施行され、一時預かりが始まりましたが、預かりの条件が緊急の場合等やむを得ない場合に限られていて、保護者の就労支援には繋がっていないように感じました。予算や関係機関との調整等様々な課題があるかと思いますが、今後柔軟な対応を望みます。

幼保一体化や小中一貫教育については、いずれもしっかりとした調査・研究に基づいた事業にしていきたいと思います。多くの課題がある中で、人生の基礎を培う就学前教育、学びの系統性と連続性、小中学校の教員をはじめ多様な人材を活用した協働の教育等、最大限のことを考えた取組をお願いします。

理科観察実験アシスタントの配置、ICT活用支援員の配置、そして不登校対策支援員・登校支援員の配置が行われ、授業改善並びに児童生徒の支援に大いに貢献していると思います。見方を変えると、教職員の多忙が大きな課題となり改善が求められている中で、これは教員にゆとりをもたらし、かなりの負担軽減に繋がると感じました。ただ、配置がまだ十分とは言えず今後の充実を願います。

自己肯定感・自己有用感を高めるには、家庭の教育力の向上が必要だと考えます。それには、幼児期が大切で、幼児の保護者を対象とした研修会（例えば「親育ち応援学習プログラムの活用」）の開催によって意識変容を促す方策を考えていただきたいと思います。保護者が集まる様々な機会を利用し、短時間で行える研修会等工夫をお願いします。ふれあいを大切にした家庭、人格を尊重した家庭教育の推進が、自立した子どもの育成に大きな力になると思います。そして、それが自己肯定感・自己有用感に繋がっていくと感じます。



ハイパーQUの研修会が行われています。これは子どもや学級集団の状態を理解し、生活や学習における指導対応の在り方を考える上で、大変役に立つ研修会だと思います。特に経験が浅い若手教員にとっては学級経営に大いに生かせるものです。校内研修等でも度々行われるようになればよいと思います。また、若手とベテランが協働して学校運営を行うための管理職の役目は大きいと感じます。教師力の向上とともに、指導環境の整備にも努めていただきたいと思います。

## 2 「心豊かな生きがいを育む生涯学習の推進」について

学校支援地域本部事業では市内10地区に拡大され成果を上げています。近年教師自身が必ずしも生活経験が豊かだとは言えず、子どもたちに地域の良さや文化を伝えることが難しくなっています。地域の方の支援は、ますます重要になっています。今後、学校支援ボランティアの活用の工夫や資質向上を考えていく必要があると思います。

## 3 「創造性を育む文化の振興と文化財の保護・活用」について

様々な芸術文化活動事業や文化財の保護・活用に対して、地道な取組を継続的に推進されていることに敬意を表します。将来を見据え、幼児期から芸術にふれる習慣を培っていくことが大切だと思います。親子で美術館や博物館に足を運ぶきっかけ作りとなるような企画をさらに推し進めていただきたいと思います。

## 4 「豊かな生涯スポーツの推進と競技レベルの向上」について

生涯スポーツの推進において、各種教室や大会の開催が多く市民参加で開催されています。その中でも幼児を対象としたスポーツ教室の開催は、様々な意味で生涯スポーツの基礎を培うものだと考えます。多くの幼児が参加できるよう開催の工夫を望みます。

## IV 資料

## 平成28年度 教育関係決算総括表

歳入

(単位：千円)

款	28年度 決算額A	27年度 決算額B	比較	
			額(A-B)	率(%)
12 分担金及び負担金	2,566	3,697	△ 1,131	△ 30.6
13 使用料及び手数料	54,557	51,181	3,376	6.6
14 国庫支出金	39,825	95,600	△ 55,775	△ 58.3
15 県支出金	33,505	9,510	23,995	252.3
16 財産収入	164	152	12	7.9
17 寄附金	4,677	3,414	1,263	37.0
18 繰入金	31,215	125,356	△ 94,141	△ 75.1
20 諸収入	39,250	100,487	△ 61,237	△ 60.9
21 市債	273,200	804,800	△ 531,600	△ 66.1
一般財源	1,960,372	2,044,577	△ 84,205	△ 4.1
合計	2,439,331	3,238,774	△ 799,443	△ 24.7

歳出

(単位：千円)

款・項	28年度 決算額A	27年度 決算額B	比較	
			額(A-B)	率(%)
20 総務費・諸費	9,142	158,092	△ 148,950	△ 94.2
01 教育費・教育総務費	409,268	321,704	87,564	27.2
02 教育費・小学校費	520,754	497,047	23,707	4.8
03 教育費・中学校費	340,062	336,604	3,458	1.0
04 教育費・幼稚園費	233,541	231,316	2,225	1.0
05 教育費・社会教育費	504,800	527,806	△ 23,006	△ 4.4
06 教育費・保健体育費	421,764	1,166,205	△ 744,441	△ 63.8
教育関係合計	2,439,331	3,238,774	△ 799,443	△ 24.7

◎ 小学校児童に係る経費の調べ

科目		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		備考	
		決算額	決算額	決算額	決算額	決算額	決算額	対前年比率		
主な経費	児童報償費	決算(千円)	38	39	35	35	31	31	100.0	卒業記念
		1人当たり(円)	84	82	83	85	84	81	96.4	
	消耗品費	決算(千円)	33,682	25,439	24,753	22,859	40,814	27,621	67.7	
		1人当たり(円)	13,361	10,354	10,665	9,995	18,435	12,414	67.3	
	実習実験用 消耗品費	決算(千円)	640	0	0	0	0	0	0.0	H24より消耗品費へ移行
		1人当たり(円)	254	0	0	0	0	0	0.0	
	燃料費	決算(千円)	3,941	4,050	4,405	3,783	2,407	2,626	109.1	
		1人当たり(円)	1,563	1,648	1,898	1,654	1,087	1,180	108.6	
	光熱水費	決算(千円)	30,240	30,655	31,368	32,469	30,583	29,587	96.7	
		1人当たり(円)	11,995	12,477	13,515	14,197	13,813	13,298	96.3	
	修繕料	決算(千円)	10,790	11,736	14,090	12,957	12,719	11,867	93.3	
		1人当たり(円)	4,280	4,777	6,071	5,666	5,745	5,333	92.8	
	プール維持 管理費	決算(千円)	6,208	6,529	6,324	6,102	6,283	7,238	115.2	
		1人当たり(円)	2,463	2,657	2,725	2,668	2,838	3,253	114.6	
	校務員業務 委託料	決算(千円)	2,700	2,700	2,700	2,700	2,700	2,700	100.0	
		1人当たり(円)	1,071	1,099	1,163	1,181	1,220	1,213	99.4	
	図書購入費	決算(千円)	5,100	8,007	6,354	5,569	5,289	4,962	93.8	
		1人当たり(円)	2,023	3,259	2,738	2,435	2,389	2,230	93.3	
	教材備品 購入費	決算(千円)	8,738	9,049	17,482	14,962	17,199	15,795	91.8	H27～テレビ プロジェクター H28～実物投影機
		1人当たり(円)	3,466	3,683	7,532	6,542	7,768	7,099	91.4	
豊かな心を 育む総合推 進事業	決算(千円)	2,042	2,031	2,061	1,836	1,862	1,888	101.4		
	1人当たり(円)	810	827	888	803	841	827	98.3		
施設維持 改良工事費	決算(千円)	21,771	36,909	21,500	18,389	27,991	15,227	54.4		
	1人当たり(円)	8,636	15,022	9,263	8,041	12,643	6,844	54.1		
学校建設費	決算(千円)	210,401	118,056	345,323	326,175	213,327	194,277	91.1	耐震補強工事 空調設備実施設計・ 工事費 等岡小改修工事	
	1人当たり(円)	83,459	48,049	148,782	142,621	96,354	87,316	90.6		
小学校費	合計(千円)	428,348	334,378	588,366	572,180	497,047	520,754	104.8		
	1人当たり(円)	169,912	136,092	253,497	250,188	224,502	234,047	104.3		

児童数(人)	2,521	2,457	2,321	2,287	2,214	2,225	100.5
6年生(人)	454	473	424	413	369	383	103.8

※ 児童数は5/1現在の人数。

◎ 中学校生徒に係る経費の調べ

科目		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		備考	
		決算額	決算額	決算額	決算額	決算額	決算額	対前年比率		
主な経費	生徒報償費	決算(千円)	149	155	143	126	136	120	88.2	卒業記念
		1人当たり(円)	330	328	320	323	317	316	99.7	
	消耗品費	決算(千円)	11,764	11,894	12,353	12,999	13,272	19,563	147.4	
		1人当たり(円)	8,549	9,059	9,719	10,833	11,461	18,721	163.4	
	実習実験用 消耗品費	決算(千円)	639	0	0	0	0	0	0.0	H24より消耗品費へ移行
		1人当たり(円)	464	0	0	0	0	0	0.0	
	燃料費	決算(千円)	1,192	1,162	1,335	1,234	801	625	78.0	
		1人当たり(円)	866	885	1,050	1,028	692	598	86.4	
	光熱水費	決算(千円)	16,732	17,401	18,032	18,668	17,677	18,211	103.0	
		1人当たり(円)	12,160	13,253	14,187	15,557	15,265	17,427	114.2	
	修繕料	決算(千円)	5,799	5,937	7,796	8,418	6,267	5,770	92.1	
		1人当たり(円)	4,214	4,522	6,134	7,015	5,412	5,522	102.0	
	プール維持 管理費	決算(千円)	831	752	1,130	1,010	1,017	1,007	99.0	
		1人当たり(円)	604	573	889	842	878	964	109.8	
	校務員業務 委託料	決算(千円)	1,600	1,600	1,600	1,600	1,715	1,715	100.0	
		1人当たり(円)	1,163	1,219	1,259	1,333	1,481	1,641	110.8	
	図書購入費	決算(千円)	4,916	7,963	5,006	4,281	3,534	3,177	89.9	
		1人当たり(円)	3,573	6,065	3,939	3,568	3,052	3,040	99.6	
	教材備品 購入費	決算(千円)	4,124	4,176	8,052	6,002	10,859	7,328	67.5	H27~テレビ プロジェクター H28~実物投影機
		1人当たり(円)	2,997	3,181	6,335	5,002	9,377	7,012	74.8	
豊かな心を 育む総合推 進事業	決算(千円)	1,024	1,045	1,059	944	969	914	94.3		
	1人当たり(円)	744	796	833	787	837	875	104.5		
施設維持 改良工事費	決算(千円)	16,155	13,263	14,370	12,976	14,697	9,598	65.3		
	1人当たり(円)	11,741	10,101	11,306	10,813	12,692	9,185	72.4		
学校建設費	決算(千円)	4,953	199,425	175,202	68,153	152,654	143,586	94.1	耐震補強工事 空調設備設置工事	
	1人当たり(円)	3,600	151,885	137,846	56,794	131,826	137,403	104.2		
中学校費	合計(千円)	149,439	371,862	364,857	253,308	336,604	340,062	101.0		
	1人当たり(円)	108,604	283,216	287,063	211,090	290,677	325,418	112.0		

生徒数(人)	1,376	1,313	1,271	1,200	1,158	1,045	90.2
3年生(人)	451	473	447	390	429	380	88.6

※ 生徒数は5/1現在の人数。

◎ 幼稚園児童に係る経費の調べ

幼稚園配当予算

科 目		23年度 決算額	24年度 決算額	25年度 決算額	26年度 決算額	27年度 決算額	28年度 決算額	対前年比率	説 明	
報償費	決算(千円)	0	0	0	0	0	0	—		
旅費	決算(千円)	280	341	305	216	248	215	86.7		
需用費	消耗品費	決算(千円)	1,742	1,680	1,782	2,142	1,944	1,773	91.2	教師用含む
		1人当たり(円)	5,826	6,131	6,253	8,176	7,967	8,324	104.5	
	燃料費	決算(千円)	861	924	899	798	512	361	70.5	
	食糧費	決算(千円)	10	10	10	9	9	9	100.0	
	印刷製本費	決算(千円)	97	75	64	74	62	37	59.7	
		1人当たり(円)	324	274	225	282	254	174	68.5	
	修繕料	決算(千円)	82	84	69	86	137	92	67.2	
小計	決算(千円)	2,792	2,773	2,824	3,109	2,664	2,272	85.3		
役務費	通信運搬費	決算(千円)	30	29	29	28	27	28	103.7	
		1人当たり(円)	100	106	102	107	111	131	118.0	
	手数料	決算(千円)	172	172	197	173	173	144	83.2	
小計	決算(千円)	202	201	226	201	200	172	86.0		
備品購入費 (図書購入費)	決算(千円)	791	218	494	987	978	920	94.1		
豊かな心を 育む総合推 進事業	決算(千円)	366	347	304	317	302	255	84.4		
	1人当たり(円)	1,224	1,266	1,067	1,210	1,238	1,197	96.7		
計	予算(千円)	4,431	3,880	4,153	4,830	4,392	3,834	87.3		
園児数(人)		299	274	285	262	244	213	87.3		

教育総務課関係

通信運搬費	決算(千円)	828	835	710	704	705	661	93.8	
光熱水費	決算(千円)	2,967	3,048	2,984	3,139	3,452	3,659	106.0	
校務員業務 委託料	決算(千円)	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100	100.0	
修繕料	決算(千円)	1,086	1,876	1,979	1,889	1,818	1,697	93.3	
施設維持改 良工事費	決算(千円)	19,733	3,000	2,897	2,969	2,470	2,689	108.9	
図書購入費	決算(千円)	0	0	0	0	0	0	—	幼稚園配当へ
備品購入費	決算(千円)	4,653	2,009	1,934	1,415	1,678	1,568	93.4	
園建設費	決算(千円)	0	0	0	670	12,556	10,436	83.1	空調設備実施設 計・工事費
計	決算(千円)	30,367	11,868	11,604	11,886	23,779	21,810	91.7	

※ 園児数は5/1現在の人数。

平成28年度の主な事業

(単位：千円)

区 分	事務・事業名	決算額	備 考
教 育 費 2,430,189	スクールポート運営管理事業	16,964	高島と六島の児童・生徒の通学
	外国語指導助手配置事業	43,740	生きた英語を親しみやすく児童生徒に伝えるため外国語指導助手(ALT)を小・中学校に9名配置
	教育活動支援事業	27,897	幼・小・中学校へ非常勤支援員を配置
	いじめ・不登校対策総合推進事業	11,881	不登校対策支援事業 (11名配置) 巡回カウンセラー等配置事業(5名配置) 教育相談室 いじめ対策支援員1名(学校教育課に配置)ほか
	英語教育推進モデル事業	3,476	小学校英語教科化に向け、タブレットPC、英語教育ソフトウェア、システム等を整備
	営繕関係	84,142	笠岡東中太陽光発電設備設置工事 大島小・陶山小・吉田小・金浦中・大島中トイレ洋式化ほか
	CMSによる学校ウェブサイト運用事業	311	市内全小・中学校(小北中含)
	小・中学校指導者用デジタル教科書整備事業	9,734	全小学校において、平成27年度改訂の国語、算数、理科、社会の、全中学校において、平成28年度改訂の国語、数学、理科、社会、英語の教科書に準拠した指導者用デジタル教科書を整備
	理科観察実験アシスタント配置事業	2,951	笠岡小・中央小・金浦小・城見小・大井小・吉田小・北川小・大島小・神内小に理科支援員3名を配置
	校務支援システム活用事業	5,493	城見小・吉田小・大島小・笠岡小・中央小・金浦小・大井小、笠岡東中・笠岡西中・金浦中・新吉中・大島中に整備(小北中含)
	通学バス運行委託料	4,489	大島小、吉田小及び北木小の児童の通学
	校務員配置事業	5,515	幼・小・中学校の校務員業務(草刈・小修繕等)を委託
	図書整備事業	9,059	小学校(4,962)、中学校(3,177)、幼稚園(920)
	教材備品整備事業	23,123	小学校(15,795)、中学校(7,328)
	要保護及び準要保護児童生徒援助費補助事業	39,723	小学校学用品等6,718、中学校学用品等9,568 給食費23,437
	特別支援教育就学奨励事業	2,110	小学校学用品等394、中学校学用品等327、給食費1,389
	小学校における不登校対策実践研究事業	2,727	児童に対する登校支援や保護者等への相談支援 登校対策支援員4名配置(笠岡小・中央小・金浦小・大井小)
	授業改善・学力向上のためのデジタル教材等整備事業	1,528	フラッシュ型教材を整備し、運用。また、より効果的活用を図るために、主に若手教員を対象に研修会を開催
	小・中学校コンピュータ室等活用事業	30,696	小・中学校のコンピュータ室、特別教室、全普通教室のコンピュータ・ソフトウェア・その他周辺機器を活用 小・中学校をイントラネットで結び、教育ネットワークを活用
	放課後学習サポート事業	1,722	小学校4・5年生、中学校2年生を中心に、その日の授業に関連した補充学習を、非常勤講師や教員OB、地域の識者等を指導者とし、各学校の実態に応じて週1~2回、各1時間程度実施
	小学校「かさおかホリデーチャレンジ学習支援」事業	1,886	全18小学校区において、地域の指導者等を講師に、月2回程度、補充的・発展的な学習を実施
	中学校「かさおかサマーチャレンジ学習支援」事業	199	中学生を対象に夏季休業中、数学及び英語を中心とした家庭学習をサポートする場を提供
	中学校「いきいきチャレンジたいけん」事業	150	市内中学校の2年生が、学区内の事業所、施設等で職場体験活動やボランティア体験活動を実施 参加生徒数 353人
	ICT支援員配置事業	7,829	小・中学校等に学校ICT支援員2名を配置し、技術支援・校務支援・授業支援等の様々なサポートを実施
	「CMで伝える地域自慢コンテンツ」開催事業	3,244	小・中学生が、地域自慢を目的としたCMをi-podを用いて作成 事前研修と中間発表会を行い、最後にコンテンツを実施
	就学前教育推進プロジェクト事業	1,172	幼児教育アドバイザー2名を配置し、保育所(園)・幼稚園への指導や助言、接続カリキュラムの作成を実施
	落ち着いた学級づくり支援事業	594	小学校5年生および中学校1年生を対象に、心理検査「ハイパーQU」を年2回実施
学校活性化モデル事業	501	小規模校の児童・生徒が、複数校での合同授業や行事を実施 多様な考えや多くの人間性にふれる場や日頃体験できない社会施設での体験機会を提供	

## 平成28年度の主な事業

(単位：千円)

区 分	事務・事業名	決算額	備 考
	学校施設耐震補強施工監理事業	3,618	笠岡小教室棟・便所棟
	学校施設耐震補強工事	162,546	笠岡小教室棟・便所棟, 今井小教室棟 笠岡小管理棟解体に伴う増築等工事
	園・学校施設空調設備設置 実施設計事業	5,297	笠岡小, 中央小, 神島外小, 笠岡幼, 金浦幼,
	園・学校施設空調設備設置工事	129,344	笠岡西中, 新吉中, 大島中, 神島外中, 大井幼, 大島幼
	笠岡市・矢掛町中学校組合 負担金	36,830	空調設備設置工事ほか
	幼稚園就園奨励費補助事業	1,472	市立幼稚園保育料減免, 私立幼稚園就園奨励費補助金
	施設型給付負担金	1,023	子ども・子育て支援新制度へ移行した私立幼稚園へ施設型給付費 を交付
	幼稚園備品整備事業	1,568	園具・事務用備品の整備
	生涯学習事業	5,711	生涯学習フェスティバル, 諸学級事業, 放課後子ども教室, 土曜日教育支援事業, 学校支援地域本部
	奨学金給与事業	1,184	藤井育英会, 公益財団法人坂本音一育英会
	成人式	732	開催日 平成29年1月8日 対象者482人 参加者380人
	能・狂言体験学習事業	298	伝統文化であり, 世界無形遺産に指定されている能・狂言に触れる ことで, 関心や理解を深めるとともに, 豊かな情操を育んだ
	人権教育自立促進事業	740	教育上配慮を必要とする幼児・児童・生徒の自立を支援
	文化振興事業	1,112	名月観賞の夕べ, 菊花展, 文化祭, 芸能祭, 市写真展, さつき・新緑展, 市美術展, 児童生徒美術展
	木山捷平文学選奨	2,015	第12回木山捷平文学選奨
	津雲貝塚調査事業	2,171	国史跡「津雲貝塚」保存のため, 貝塚の範囲確認を目的とする 発掘調査のほか, 自然科学分析, 他機関所蔵遺物の実測調査を実施
	日本遺産研究事業	3,108	歴史文化基本構想の策定に着手 策定支援業務委託, 策定委員会, ワーキンググループ等を実施
	教育相談事業	14,051	児童・生徒及びその保護者等に対して相談, 助言及び援助を実施 相談員4名配置
	北木島宿泊研修事業	5,146	北木島宿泊研修所の管理運営を指定管理によって行い, 島なら ではの宿泊体験学習を提供 利用者数1,686人
	青少年育成地区活動推進事業	882	各地区において青少年健全育成に取り組む団体に対し補助金を 交付し, 活動を支援 市内各地区青少協11団体
	公民館活動助成事業	6,000	地区公民館20館 109事業
	公民館施設整備事業	21,419	空調設置(陶山, 大島, 六島), 屋根塗装(吉田, 白石島), 空調改修(神島外, 飛島), 駐車場舗装(金浦) トイレ改修(白石島, 陶山, 神島), 印刷機・複合機など
	市民会館運営事業	29,665	一般財団法人笠岡市総合福祉事業団吸江社へ管理運営を委託
	市民会館施設長寿命化事業	17,776	火災警報設備改修, ホール音響設備改修
	図書館運営事業	57,855	子ども司書養成講座, ブックスタート事業, 児童図書充実事業 森田思軒顕彰講演会事業, 防犯カメラ設置など 利用者数53,113人
	カプトガニ博物館運営事業	65,387	カプトガニ保護対策事業, 大量飼育事業, 特別展, 映像制作事業 マスコットキャラクター拡充事業など 特別展示「モンコレ!～夏の珍作コレクション～」 特別陳列「ヒサクニヒコの夢の世界」
	郷土館運営事業	3,164	案内標示板設置, 空調整備など 入館者数473人
	竹喬美術館運営事業	62,243	特別陳列「瀬戸内の陽光に誘われて 竹喬名品120選」 特 別 展「没後70年 津田白印展」 特 別 展「パリを生きるパリを描く展」 特 別 展「近代花鳥画の巨匠 柳原紫峰展」 特別陳列「森谷南人子 多彩な試み-日本画・油彩画・版画-」 特別陳列「見上げた空の向こうに 素描の魅力 竹喬」
	真鍋島ふるさとふれあいセンタ ー運営事業	1,690	交流学習・文化活動等を行う場を提供 空調取替, 電気自動車用充電コンセント設置
	笠岡諸島開発総合センター運営事業	6,037	交流学習・文化活動等を行う場を提供 トイレ改修, 放送機器

## 平成28年度の主な事業

(単位：千円)

区 分	事務・事業名	決算額	備 考
	スポーツライフ推進事業	2,015	スポーツ教室, ニュースポーツ大会, スポーツ推進委員派遣
	スポーツ振興事業	6,187	べいふあーむ笠岡マラソン, カブトガニ駅伝等
	ファミリーウォーキング大会	200	ミズノオープンプレイメントとして開催されるファミリーウォーキング大会の運営を支援
	インターハイ競技運営負担金	6,538	平成28年度の全国高等学校総合体育大会ウエイトリフティング競技大会の開催に伴う負担
	インターハイ開催事業負担金	950	平成28年度の全国高等学校総合体育大会ウエイトリフティング競技大会の開催に伴う負担
	オリンピック出場選手応援活動補助金	400	オリンピックに出場する笠岡市出身選手の応援活動に対する活動助成
	体育施設管理事業	28,315	体育施設管理運営委託料 施設予約管理システム運用委託料
	テニスコートオープン記念イベント講師派遣委託料	605	プロの講師によるテニス及びソフトテニスの教室を開催
	市民体育センター耐震工事実施設計委託料	4,747	市民体育センター耐震工事の実施設計
	海洋センター管理運営事業	10,139	島しょ部のスポーツ・レクリエーション施設として管理運営
	総合スポーツ公園体育施設管理運営事業	46,243	笠岡総合体育館, 笠岡陸上競技場, 多目的広場の管理運営
	学校給食事業	221,400	小学校18校, 中学校10校(小北中含む)
	新学校給食センター建設事業	14,300	新学校給食センターの平成30年4月稼働を目指して, 専門的な知識に精通したコンサルタント業者にアドバイザー業務を委託し, 事業者選定を効率的に推進すると共にモニタリング業務を委託し, 事業を円滑に推進 PFIアドバイザー業務委託: 11,950 モニタリング業務委託: 1,954 など

区 分	事務・事業名	決算額	備 考
総 務 費 9,142	旧北木小学校再生事業	9,142	旧北木小学校を宿泊研修施設として再生利用するために必要な設計, 工事を実施 屋外炊事棟新築工事実施設計, 空調増設, 網戸・ごみ集積庫設置